

北海道議会時報

第31巻 第11・12号

昭和54年第3回定例道議会



北海道議会事務局

北海道議会時報第31巻第11・12号(昭和54年第3回定例道議会)

(表紙写真説明)

北海道立福祉村

脳性マヒなどの重度身体障害者の総合援護施設として昭和52年から空知郡栗沢町の丘陵地帯約100haに建設工事が進められ、昭和54年春に更生居住棟、エネルギー・サービス棟、作業訓練棟などの第一期工事が完成、同年6月第一陣の入居者を迎え、活動を開始した。

将来は中心施設はもとより付帯施設、屋外施設の充実を図り、約400人の身障者と家族、職員を合わせ約1,000人の人口を想定し、地域社会との交流を深めてゆく計画である。

(写真提供 一道総務部審議室道民課道民相談室)

第3回定例道議会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	11
意 見 案	13
請 願・陳 情	17

委員会 の 動 き

議会運営委員会	19
常 任 委 員 会	24
特 別 委 員 会	31
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
石油緊急対策特別委員会	
予算特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	47
10都道府県議会議長会	47

資 料

第3回定例道議会において議決を経た条例 の公布調	48
-----------------------------	----

10・11月のメモ

議 会 日 誌

▶ 9 月

29日(土) (第3回定例会開会)
議会運営委員会
本会議(会期決定<24日間>、提案説明、企業会計決算認定、意見案1件可決)

▶ 10月

11日(木) 議会運営委員会
本会議(代表質問<1人>)
12日(金) 議会運営委員会
本会議(代表質問<3人>、一般質問<1人>)
13日(土) 議会運営委員会
本会議(一般質問<5人>)
15日(月) 議会運営、総合開発調査特別各委員会
本会議(一般質問<3人>)
16日(火) 議会運営、総合開発調査特別各委員会(副委員長の互選)
本会議(特別委員補欠選任、一般質問)
17日(水) 議会運営委員会
本会議(一般質問<3人>)
18日(木) 議会運営委員会、予算特別委員会(正副委員長の互選、予算第1・第2分科会設置)、予算第1、第2各分科会(正副委員長の互選)
本会議(一般質問<1人>、予算特別委員会設置)
19日(金) } 予算第1、第2各分科会(各部所管
20日(土) } 審査)

22日(月) 議会運営委員会、予算第1・第2各分科会(各部所管審査)

本会議(会期延長)

23日(火) } 予算第1、第2各分科会(各部所管
24日(水) } 審査)

25日(木) 議会運営委員会、予算第1・第2各分科会(各部所管審査)

本会議(会期延長)

26日(金) 議会運営、各常任、石炭対策特別、北方領土対策特別、予算特別(総括質疑、意見調整)各委員会、予算第2分科会(各部所管審査)

本会議(各委員長報告、修正案否決、補正予算等可決、追加提案説明、教育委員会委員等選任同意、意見案5件可決、陳情審査)

(第3回定例会開会)

27日(土) 各常任委員会

▶ 11月

2日(金) 商工労働、農務、文教林務各委員会

5日(月) 総務、厚生、農地開発、水産各委員会

9日(金) 議会効率化小委員会

10日(土) 議会効率化小委員会

12日(月) 建設委員会

19日(月) 石油緊急対策特別委員会

29日(木) 文教林務委員会

第3回定例道議会

総額24億円余の補正予算成立

▶一般消費税導入問題についての要望意見案を可決◀

概 要

- ① 昭和54年度補正予算等を審議する第3回定例道議会は、9月29日招集され、今期定例会の会期を10月22日までの24日間と決定の後、総額24億500万円の補正予算並びにこれに関連する議案等が上程され、知事から提案説明を行い、ついで、前会から継続審査中の昭和53年度企業会計決算について、企業会計決算特別委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも認定議決又は意見を付し認定議決。ついで、昭和54年産畑作物価格等に関する要望意見案を可決して、議案調査のため、10月1日から10月9日まで9日間休会した
- ② 休会あけの10月11日から代表質問、12日から一般質問に入り、16日には総合開発調査特別委員及び石炭対策特別委員の補欠選任を行い、18日には一般質問を終結して、31人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、10月19日から10月20日まで2日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、10月18日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、翌19日から補正予算等に対する各部所管審議に入り、第1分科会は25日、第2分科会は26日に質疑を終結し、26日には各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、同日質疑を終結して意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず、社会、公明及び共産3党共同による補正予算修正案が提出され、採決の結果、これを否決し、知事提案をいずれも原案可決又は承認議決と決定した。
- ④ 本会議再開日の10月22日は、知事から台風20号の災害に関する報告の後、予算審議などの都合により、会期延長の件を議題とし、会期を10月25日まで3日間延長することに決定、各委員会付託議案審査のため、23日から24日まで休会し、25日には議事の都合により、さらに会期を10月26日まで1日間延長した。
- ⑤ 最終日の10月26日は、あらかじめ会議時間を延長し、夜に至り本会議を再開、まず、補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告の後、社会、公明及び共産3党共同提案による補正予算修正案について、趣旨説明、討論、採決の結果、これを否決し、委員長報告のとおり原案可決。
次に、各委員会付託議案について、起立採決又は簡易採決により、委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。ついで、人事案件等の追加提出議案について、知事から提案説明の後、起立採決又は簡易採決により、いずれも原案のとおり可決又は同意議決。ついで、「一般消費税導入問題についての要望意見案」ほか4意見案について、起立採決又は簡易採決により、いずれも原案のとおり可決、引き続き、陳情審査の件について、委員会決定のとおり1件を採択と決定の後、閉会申請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件をすべて議了。議長から、閉会のあいさつがあって、開会以来28日目の10月26日午後10時20分閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況								計
		原 可	案 決	否 決	同 議	意 決	承 認	認 決	定 決	
知事	26	20	0	4	1	(2)	(5)	1	26 (7)	
議員	7	6	1	0	0	0	0	0	7	
計	33	26	1	4	1	(2)	(5)	1	33 (7)	

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○9月29日（土） 午前10時6分開議、西尾六七議長、昭和54年第3回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元道議会議員吉田繁雄氏の逝去（8月19日）について弔意を表した旨を報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から10月22日までの24日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、知事から提出案件に関する説明。次に、

日程第4 前会より継続審査の報告第20号ないし第26号を議題とし、田刈子政太郎企業会計決算特別委員長（自民）から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から、報告第23号ないし第26号に対する反対討論の後、採決に入り、まず、報告第23号ないし第26号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり認定議決又は意見を付し認定議決。次に、日程第4のうち、報告第20号ないし第22号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり意見を付し認定議決。次に、

日程第5 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案のとおり可決。

ついで、議案調査のため10月1日から10月9日まで9日間休会、10月11日再開することに決定して、午前10時35分散会。

企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の昭和53年度企業会計決算にかかわる報告第20号ないし第26号の7件につきまして、その審査経過並びに結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る7月14日に設置され、直ちに、正副委員長の互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定し、その後7

月24日の委員会において理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取するとともに7月26、27日の両日には、関係事業について、現地視察を行い、さらにまた、審査に必要な55項目にわたる資料の提出を受けまして、決算内容の調査を行ったところであります。

次いで、8月21日から関係各部局所管の審査に入り、8月29日をもって、一切の質疑を終結した次第であります。

以下、関係各部局所管ごとの質疑を通じまして論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

衛生部所管におきましては、

道立病院の経営に関し、毎年度発生する赤字の原因と議会の付帯意見及び監査委員の審査意見等に対する具体的な措置、固定医師及び医療技術者確保のための対処方策、累積赤字の解消策としての一般会計からの繰入れの考え。医師等の定数問題に関し、医療法に基づく医師の定数配置の状況と医師の確保及び処遇改善等に対する積極的方策嘱託医の配置状況と定数化についての考え方、看護婦の確保対策、臨時職員の勤務内容と定数化についての考え方。羽幌病院における結核病床の利用状況と未使用結核病床の一般病床への転用見通し。札幌北野病院に未使用病床を有する理由と今後の対策並びに医師派遣のあり方。医薬品の一括購入に関し、53年度薬品購入の総額、一括契約の品目数とその割合、一括購入契約の拡大と低廉価格で購入する方策などに関する諸問題。

林務部所管におきましては、

昭和53年決算委員会の付帯意見に関し、道有林野事業会計の収支改善の措置状況と今後の見通し、林業労働安全対策に関し、労働災害の発生状況、毒ガ、マムシ等による事故防止対策及び枝打作業における安全対策、振動病の発生状況及び防止対策。道有林経営に関し、その役割と将来展望についての考え方、杉及びカラマツ間伐材の道内消費拡大対策。道有林野基金に関し、文教施設事業に対する貸付実績及び貸付条件改定の考え方、道有林野の農用地としての開放の実態と活用に対する考え方。林業労働力の安定確保対策に関し、作業員の雇用及び賃金の実態並びに今後の対策などに関する諸問題。

住宅都市部所管におきましては、

北広島団地開発事業に関し、宅地処分の遅延原因と町財政に与える影響並びに宅地分譲促進対策、道営、公営住宅の空き家対策。地域暖房供給に関し、熱供給事業の現状と促進対策、熱供給会社の燃料確保対策とその見通し、熱料金改定についての考え方と対策、今後の宅地施策の基本方向と住宅施策の基本的な考え方などに関する諸問題。

企業局所管におきましては、

道営電気事業に関し、その位置付けと将来構想、水力発電所の採算性と多目的ダム建設の必要性、ポンテシオ発電所建設計画の概要と売電単価算定方式の検討並びに地熱発電の実現可能性。工業用水道事業に関し、累積欠損金解消の理由と料金値上げの有無、苫東工業用水道の事業規模と現況及びダム着工の見通し、苫小牧第2工業用水道施設の建設費について拓銀、道銀に縁故債を引受けさせた理由と北電等に縁故債を引受けさせる考え方、出資金に対する納付金の納入に係る検討状況。工業団地開発事業に関し、苫小牧東部住宅団地早来、鶴川地区における用地未売却の理由と今後の見通し並びに札幌通産局長発言にかかる今後の用地売却への影響と考え方、などに関する諸問題でありまして、各般にわたり活発な論議が交わされた次第であります。

しかして、質疑終結後、各派代表者間におきまして、意見の調整を図りました結果、8月31日の委員会におきまして、全会一致、報告第24号及び第25号は、認定議決、報告第20号ないし第23号及び第26号につきましては、次に申し上げます意見、すなわち、

報告第20号につきましては、

1. 病院事業会計の累積赤字を解消するため、適切な財政措置が講じられるよう国に対し強く要請するとともに、道においても、積極的に努力すべきである。
2. 道立病院の経営健全化を図るため、医師等の確保定着及び施設の効果的利用に努めるほか、職員の適正な配置について、一層配慮すべきである。

報告第21号につきましては、

1. 道有林のもつ公益的機能の増強を図り、事業の効率的執行に努めるべきである。

報告第22号につきましては、

1. 宅地分譲の促進を図るため、交通網の整備等に努めるほか、空き家に対する入居促進等に一層配慮すべきである。

2. 住宅団地において、安定した熱供給が図られるよう、道においても配慮すべきである。

報告第23号につきましては、

1. 道営発電事業については、国内エネルギーの開発確保の観点に立って推進すべきである。

報告第26号につきましては、

1. 北海道工業団地開発事業については、道と民間の責任分野を明確にし、経営収支の改善を図るべきである。

との意見を付し認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ、御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対しましては、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

○10月11日（木） 午前10時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、代表質問に入り、

青木 延男議員（社会）から、

- ① 財政問題に対し、明年度の道税収入及び予算の規模、道の債権債務についての今後の対処策、減債基金、道債基金設置の考え、公共事業費の地域配分のあり方
- ② 石油問題に関し、家庭用灯油についての道民生活安定条例の機能強化と今後の運用方策、今冬の灯油確保の見通し及び用途別供給実態、共同購入の供給見通しと契約不能グループについての対処方針、経済的弱者に対する救済措置、転入者等に対する安定供給対策、中小企業の燃料油の確保対策、石油等の違法貯蔵の防止対策
- ③ エネルギー問題に関し、原発に係わる放射性廃棄物の有害性及び国の安全性の根拠、地熱資源の開発利用の遅滞理由と行政対応窓口の一元化及び今後の促進計画、水力、国内炭の開発利用及び低カロリー炭のガス化発電の

促進、ソーラーハウスの研究体制と研究成果の活用、エネルギー事情に伴う道発展計画見直しの考え

- ④ 開発問題に関し、苫東に係る巨大開発のあり方、苫東開発重点主義に対する所見、札幌通産局長発言についての見解、苫東計画の今後の展望、地場産業の将来構想
- ⑤ 農業問題に関し、超過米の予測数量と対策、転作拡大についての対応策、本道農業のあり方及び国政との関連、加工原料乳の不足払い制度改善についての国への働きかけ、生乳計画生産の取り組み方、酪農経営の実態把握と対応策
- ⑥ 中小企業及び流通問題に関し、年末金融に対する道費預託の考え、流通の現状と流通対策室の役割
- ⑦ 雇用問題に関し、冬期就労事業の道の計画及び市町村への道費補助の考え方、中小企業者に対する受注の確保に関する法律の準用の考え、企業組合への工事発注の考え、身体障害者の雇用状況
- ⑧ 機構改革及び職員不祥事件に関し、教育行政及び青少年婦人事務局の見直しの考え、行政機構のあり方及び事務配分、権限移譲等の再考、道職員の不祥事件に対する所見及び今後の防止対策
- ⑨ 教育問題に関し、教育荒廃についての現状認識と対応方針、義務教育における学級編制基準の改正に対する見解及び40名学級の必要教室数と教員数、児童生徒急増地域対策についての国への働きかけ方及び国庫負担法による急増指定市町村数と学校建設計画、過疎対策に係る教職員定数改善についての国への要請方針及び道独自取組みの考え、教育長計における55年度高校間口の計画数と収容率修正の考え、定時制間口縮小に対する所見、定時制教育の基本的見解、基準財政需要額と実質教育費との関連及び教育予算の拡充、精薄児童養護学校の計画修正理由と今後の計画、養護学校義務化に伴う施設内教育の拡大効果、未就学者の就学対策、義務化後の未就学者、学齢超過者の就学状況及び今後の対応
- ⑩ 警察行政に関し、警察予算の実態と今後のあり方、超過負担解消策についての対処方針

等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時53分休憩、午後2時28分再開、ついで、青木延男議員（社会）から再質問があって、議事進行の都合により、午後2時57分休憩、午後4時13分再開し、あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事及び教育長から休憩前の青木議員の再質問に対する答弁及び警察本部長から青木議員に対する答弁の一部訂正発言の後、青木議員から再再質問、知事から答弁があって、午後5時19分延会。

○10月12日（金） 午前10時9分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、代表質問を継続、

小笠原 孝議員（自民）から、

- ① 行財政上の諸問題に関し、国の財政再建対策と本道経済の今後の見通し、道財政の対応策、行財政改革の実態と推進方策、綱紀の保持
- ② エネルギー問題に関し、石油製品の需給見通しと価格の実情、石油の消費節減対策と低所得者への助成方、原発立地の促進
- ③ 農業問題に関し、本道稲作の将来方向と減反抑止についての国への働きかけ、余乳対策の取り組み、酪農経営の安定対策
- ④ 水産振興に関し、漁業振興計画の必要性和計画策定についての考え方
- ⑤ 苫東開発に関し、苫東開発の現況と計画推進の必要性
- ⑥ 青函トンネルと新幹線に関し、青函トンネルの利用方針と建設予算の確保、北海道新幹線の建設見通し
- ⑦ 道産資源の開発に関し、牛乳加工製品の開発促進、新道産品の開発推進に対する考え方
- ⑧ 老人対策と医療問題に関し、老人福祉に対する協議機関の設置構想、成人病予防に係る受診向上策
- ⑨ 交通安全対策に関し、第2次交通安全施設等整備5箇年計画の進捗状況と事故防止の効果、新長期計画策定の考え、速度低下対策の実態と今後の方針、交通事故抑止対策の強化、暴走族の実態と対処策
- ⑩ 教育問題に関し、職業教育機関の充実策、高校教育の実情と質的向上策、技能尊重に対

する所見、道徳教育の充実対策、社会教育とスポーツの振興策、国体に向けてのスポーツ施設の建設構想と見通し、生涯教育に対する協議機関設置の考え

- ⑪ 北方領土問題に関し、ソ連軍事基地の撤去と領土返還について国へ要請する決意等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁、議事進行の都合により、午後零時15分休憩、午後1時25分再開。ついで、

工藤 啓二議員（公明）から、

- ① 経済問題に関し、本道経済の現状と今後の見通し、開発公共事業の重点施策
- ② 農業問題に関し、減反による転作農家の経営安定対策、54年産畑作物価格の要求実現及び今後の畑作振興対策の基本方針
- ③ 福祉対策に関し、国保財政悪化に伴う対処策、国保税の負担格差是正に対する見解、言語障害児対策の進め方、言語障害児教育の実情と今後の進め方
- ④ 中小企業対策に関し、中小企業の経営基盤確立に対する基本認識と今後の充実強化策
- ⑤ エネルギー対策に関し、灯油の価格指導の強化と今後の供給見通し、省エネルギー対策の拡充強化、石炭の消費促進、生産拡大利用に対する考え方、石油代替エネルギーの開発状況と実用化の見通し
- ⑥ 火山噴火災害対策に関し、活動的火山及び周辺地域に対する防災対策の現状
- ⑦ 北方領土問題に関し、ソ連軍事基地の撤去と領土返還実現に対する努力方
- ⑧ 教育問題に関し、高校教育の現状認識と今後のあり方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。工藤啓二議員（公明）から再質問があり、知事から答弁。ついで、

中川 隆之議員（道政）から、

- ① 過疎問題に関し、過疎地域対策緊急措置法の延長の見通しと対応策、過疎地域振興計画の進捗状況と今後の見通し、過疎地域特別対策事業の拡充強化、テレビ難視聴地域の解消、過疎対策の基本的な考え方
- ② 福祉問題に関し、在宅福祉施策の進め方、老人生きがい対策の充実強化、自閉症児対策の今後の取り組み方

- ③ 農業問題に関し、道産米の品質改善と流通拡大に対する今後の取り組み、輸入畑作物の本道農業に及ぼす影響と輸入規制についての国への働きかけ

- ④ 水産問題に関し、サケ・マス資源増殖事業に対する助成及び事業拡大の考え、次期漁港整備計画策定の考え方

- ⑤ 原発問題に関し、原発導入の基本姿勢、地元説明会における国の住民対応の要点、原発推進等について

質問があり、知事から答弁。中川隆之議員（道政）から再質問があり、知事から答弁、議事進行の都合により、午後3時36分休憩、午後3時57分再開。ついで、**一般質問**に入り、

中川 義雄議員（自民）から、

- ① 輸送問題に関し、道東、道北高速自動車道の建設促進、航空輸送体制の拡充整備
- ② エネルギー問題に関し、サハリン天然ガスの導入に対する今後の対処方針
- ③ 住宅問題に関し、建築基準、融資条件の改善と省エネルギー等を考慮した寒地住宅対策の推進等について

質問があり、知事から答弁があって、午後4時24分延会。

○10月13日（土） 午前10時6分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに**一般質問**を継続
輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 大学誘致に関し、大学誘致についての知事の基本的な考え方、具体的な誘致活動の展望
- ② 流通問題に関し、本州との輸送体系の整備、物流拠点施設の適正配置計画の策定年次、中央卸売市場に対する財政援助の考え及び発展計画における卸売市場整備との関連
- ③ 小児医療に関し、道立小児総合保健センターの利用実態と設置目的との関連、医療体制の拡充整備及び当初計画病床数の達成見通し等について

質問があり、知事から答弁。輪島幸雄議員（社会）から再質問及び再再質問があり、知事から答弁。ついで、

青山 章議員（自民）から、

- 稲作転換に関し、転作のあり方及び輪作体

系の確立、道産米の品種改良に対する対応状況等について

質問があり、知事から答弁、議事進行の都合により、午前11時21分休憩、午後1時再開。ついで、

舟山 広治議員（社会）から、

- 文化問題に関し、北海道文化に対する基本的見解と発展構想、北海道文学全集の発行援助の考え、北海道文学館に対する考え方、埋蔵文化財の実態把握及び埋蔵文化財センターの機能、オホーツク文化の日ソ交流による調査研究の促進、上ノ国町における文化財の保存対策、一般文化財の現状把握と保存対策、道立博物館の建設の考え、道立図書館の利用促進対策及び機構、職制見直しの考え、旭川道立美術館設置構想の基本的な考え方、芸術大学の誘致促進、既存大学における文化講座の拡充整備、文化関係予算の長期配分の考えについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。舟山広治議員（社会）から再質問、教育長から答弁。ついで、

関根 建二議員（社会）から、

- ① エネルギー問題に関し、灯油の安定供給に対する業界への指導状況、灯油価格の動向及び価格抑制、元売仕切価格の指導、産業用燃油の供給見通しと需給及び価格抑制対策、本道における石油、天然ガスの開発状況と今後の見通し、石炭の液化、ガス化技術開発についての国への働きかけ
- ② 福祉行政に関し、社会福祉法人の認可のあり方、不祥事に対する制裁規定の強化、道の監査体制の改善整備等について

質問があり、知事から答弁。関根建二議員（社会）から再質問、知事から答弁。ついで、

高橋 康之議員（自民）から、

- 水産問題に関し、韓国漁船の操業問題解決についての所見、漁具被害に対する対処策、日ソ漁業交渉に取り組む決意、噴火湾ホタテ貝大量へい死に対する対応状況と今後の対処策、ホタテ貝毒に伴う生産、出荷体制のあり方、流木等の被害対策、噴火湾の今後の漁業振興対策等について

質問があり、知事から答弁があつて、午後3時15分延会。

○10月15日（月） 午前10時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、**勝木 省三議員（道政）**から、

- 石狩湾新港開発に関し、地場中小企業の立地促進、今後の企業立地見通し、用地分譲価格の安定対策、石狩湾新港地域の基盤整備事業の進行管理、広域幹線道路の整備及び環境保全対策、地場中小企業の技術水準の向上策、開発の推進方等について

質問があり、知事から答弁。ついで、

米村 邦敏議員（社会）から、

- 林業問題に関し、森林、林業に対する基本的な考え方、林業振興に係る国会決議についての取り組み状況と今後の見通し、木材価格の急騰原因と今後の見通し及び価格安定対策、道の持家建設資金貸付制度の拡充、カラマツ材の利用拡大方策、森林資源の造成、生産基盤の整備及び木材の加工、流通対策等について

質問があり、知事から答弁。米村邦敏議員（社会）から再質問、知事から答弁、議事進行の都合により午前11時29分休憩、午後1時35分再開。ついで、

保格 博夫議員（社会）から、

- ① 農業補助事業に関し、FRP（ガラス繊維強化プラスチック）サイロの倒壊事故の実態と原因、被害農家対策、FRPサイロを補助事業の対象とした理由と試験結果における安全性
- ② 石油問題に関し、石油価格対策の国への働きかけ方、帯広の石油販売業者の灯油、軽油不当販売に対する見解及び道の指導内容、軽油、A重油に対する道民生活安定条例第10条適用の考え、トラック等の輸送燃料油の供給確保対策
- ③ 有害物質問題に関し、家具等の試買検査におけるホルムアルデヒド超過検出の受けとめ方と今後の指導及び対応策、合板・家具業界等に対する指導、規制措置の考え方及び事業場従事者の安全衛生対策の十分性
- ④ 教育問題に関し、教育行政の基本的なあり方、道教育委員会と市町村教育委員会との関係、学習指導要領に対する基本認識、教育課

程における領域の変遷、道德教育のあり方、教育課程編成についての文部省の機能及び室蘭市の年度中途変更に対する所見等について質問があり、知事及び教育長から答弁。保格博夫議員（社会）から再質問、知事、農務部長及び教育長から答弁の後、舟山広治議員（社会）から議事録精査の議事進行発言があって、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後3時18分休憩、午後5時33分再開し、午後5時34分延会。

○10月16日（火） 午前10時14分開議、諸般の報告（議会運営委員の変更指名、議会運営副委員長の辞任及び当選報告、総合開発調査・石炭対策各特別委員の辞任許可、請願第18号の取り下げなど）の後、

日程第1 特別委員補欠選任の件を議題とし、吉田英治議員（社会）を総合開発調査特別委員に、青木延男議員（社会）を石炭対策特別委員に補欠選任することに異議なく決定、議事進行の都合により、午前10時16分休憩、午後1時18分再開。引き続き、

日程第2 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、農務部長及び教育長から、昨日の本会議における保格博夫議員（社会）の再質問に対する補足答弁の後、保格議員から再再質問があり、知事から答弁、教育長の答弁調整のため、午後1時43分休憩、午後4時47分再開し、午後4時48分延会。

○10月17日（水） 午後1時42分開議、諸般の報告（総合開発調査特別副委員長の辞任及び当選報告など）の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、教育長から、昨日の本会議における保格博夫議員（社会）の再再質問に対する答弁の後、

小田部 善治議員（道政）から、

- ① 地域開発に関し、道東の高速自動車国道の延長、高速道路整備のあり方、北海道横断自動車道の建設促進、網走地方の港湾整備、女満別空港のジェット化促進
- ② 農業問題に関し、畑作、酪農地帯における農業基盤整備の推進、農村の環境整備、畑作物共済制度への加入促進、豚肉の価格暴落に

対する対応策、飼料自給率の向上改善対策、食肉屠畜検査に対する屠畜検査員の配置状況及び検査体制の拡充

- ③ 特定不況地域施策に関し、市町村事業に対する財政措置状況、事業の拡大及び推進体制の強化、離職者対策、雇用開発委員会における検討方向と知事の所見等について質問があり、知事から答弁。ついで、

木下 一見議員（道政）から、

- ① エネルギー問題に関し、灯油の価格の見通しと行政指導の判断基準、今冬における灯油の確保量、石油精製プラントの増強、国家備蓄施設の誘致計画、石油代替新エネルギーの位置づけ、国内炭の需給見通しと海外炭導入に伴う受け入れ体制及びコールセンターの具体的構想
- ② 教育問題に関し、主任制に係わる学校管理規則の改正見通しと指導状況、教育課程の3領域編成の実施状況、室蘭市教育委員会の北教組室蘭支部との確認書破棄についての評価、胆振教育局と北教組室蘭支部及び胆振支部間の確認書に対する対処方針、小樽市における補助教材の使用実態、道内における検定教科書の使用状況、市町村教育委員会に対する指導理念
- ③ 社会福祉施設に関し、社会福祉法人の自主性尊重と指導体制強化についての所見等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。木下一見議員（道政）から再質問、知事から答弁。ついで、

柳谷 正一議員（公明）から、

- ① 特定不況地域対策に関し、函館、室蘭の造船業に対する経営安定対策の措置状況、受注拡大についての措置内容と今後の取り組み方、中小企業に対する融資実績と今後の融資促進方策、特定不況地域における職業訓練の拡充整備及び公共事業の配分見直し
- ② 水産問題に関し、水産加工業の経営安定対策、噴火湾地域の水産加工業のあり方と助成措置の考え方
- ③ 高等教育の拡充整備に関し、文部省大学設置審議会の中間報告に対する対処状況と今後の進め方
- ④ 医療福祉問題に関し、社会福祉長計におけ

る保育所整備の進捗状況と目標達成見通し及び公費負担制度の拡充、障害児保育に対する考え方、乳児保育の充実対策、母子家庭医療費の拡大

⑤ 広域観光に関し、地域別整備計画における道南地域の観光振興策等について

質問があり、知事から答弁。柳谷正一議員（公明）から再質問、知事から答弁があって、午後4時8分延会。

○10月18日（木） 午前10時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続
川崎 守議員（共産）から、

① 知事の政治姿勢に関し、明年度の予算編成に対する基本的な考え方、一般消費税導入に対する反対表明の考え、北方領土問題解決の基本的な考え方

② エネルギー問題に関し、石油製品の卸売価格の格差理由、灯油仕入れ価格引き上げ額の妥当性、石油2法の発動と灯油の指導価格設定についての国への働きかけ、福祉灯油復活の考え、灯油の安定供給対策、産業界に対する省エネルギーの指導状況と企業の省エネルギー対策

③ 住宅問題に関し、公営住宅の建設計画の策定目的と目標未達成の要因、道営住宅の空き家の原因、苫小牧市の公営住宅の空き家に対する認識及び今後の対応、公営住宅の質の向上及び入居基準の緩和

④ 宗教法人の経営に関し、宗教法人毘沙門堂に対する墓地設置経営許可に係る代表役員の届け出状況、函館市の設置同意に対する受けとめ方、事業認可と宗教法人規則との関連

⑤ 農業問題に関し、酪農近代化計画における生乳生産量の目標年率、計画達成見通し及び計画生産の進め方、乳製品の消費拡大策及び輸入規制に対する国への働きかけ、牛乳購入補助拡大の考え、メーカーとの牛乳価格交渉の考え、国の減反政策に対する対応姿勢、パレイショの輸入規制についての国への要請方

⑥ 教育問題に関し、教育長計の後期計画における高等学校の問口数及び新設数、渡島学区の目標進学率と具体的な向上策、函館市の進

学率に対する見解等について

質問があり、知事から答弁。川崎守議員（共産）から再質問があって、議事進行の都合により、午前11時20分休憩、午前11時46分再開し、知事及び教育長から、休憩前の川崎議員の再質問に対する答弁の後、川崎議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、川崎議員から発言があって、質疑並びに一般質問を終結。ついで、

伊藤豪議員（道政）から、予算に関する案件について、本議会に31人からなる予算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたい旨の動議を提出、賛成があって動議成立、これをはかって異議なく決定の後、次の委員を議長指名（配付名簿のとおり）により選任のうえ、議案第1号ないし第3号及び報告第1号を予算特別委員会に付託した。

次に、残余の案件について、議案第4号、第13号及び第14号は水産委員会に、議案第5号、第9号及び第15号は文教林務委員会に、議案第6号、第7号、第10号及び第17号ないし第19号は総務委員会に、議案第8号は厚生委員会に、議案第11号、第12号及び第16号は建設委員会にそれぞれ付託した。

○予算特別委員（31人）

神本 三也（社 会）	木本 由孝（自 民）
高橋 康之（自 民）	勝木 省三（道 政）
木下 一見（道 政）	中川 隆之（道 政）
中川 義雄（自 民）	吉川 貴盛（自 民）
吉野 之雄（社 会）	工藤 啓二（公 明）
川崎 守（共 産）	岡本栄太郎（社 会）
浅川 正敏（自 民）	佐藤 静雄（自 民）
高木 繁光（自 民）	寺崎 政朝（自 民）
野村 權作（自 民）	米田 忠雄（自 民）
和田 勝之（自 民）	大平 秀雄（自 民）
笹浪 幸男（自 民）	武部 勤（自 民）
鈴木 誠二（社 会）	保格 博夫（社 会）
中田 繁夫（社 会）	藤井 虎雄（社 会）
星野 健三（社 会）	湯本 芳志（社 会）
若狭 靖（自 民）	作田 政次（自 民）
高橋正四郎（自 民）	

次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく10月19日から10月20日まで休会し、22日に再開することに決定して、午後零時19分散会。

○10月22日（月） 午後4時45分開議、諸般の報告（予算特別正副委員長の当選報告など）の後、あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事から、台風20号に伴う災害に関する報告があり、ついで、

日程第1 会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を10月25日まで3日間延長することに決定。次に、各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、異議なく10月23日から10月24日まで休会することに決定して、午後4時51分散会。

○10月25日（木） 午後4時33分開議、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時34分休憩、午後7時44分再開し、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、異議なく今期定例会の会期を10月26日まで1日間延長することに決定して、午後7時45分散会。

○10月26日（金） 午後4時43分開議、あらかじめ会議時間を延長のうえ、午後4時44分休憩、午後9時43分再開し、諸般の報告（議案第1号に関する修正動議の提出など）の後、

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号を議題とし、大平秀雄予算特別委員長（自民）から議案第1号ないし第3号及び報告第1号について、小笠原孝水産委員長（自民）から議案第4号、第13号及び第14号について、熊谷克治文教林務委員長（社会）から議案第5号、第9号及び第15号について、伊藤知則総務委員長（自民）から議案第6号、第7号、第10号及び第17号ないし第19号について、宇野真平厚生委員長（自民）から議案第8号について、水沼徳一郎建設委員長（自民）から議案第11号、第12号及び第16号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、岡本栄太郎議員（社会）ほか33人から提出の議案第1号に関する修正案について趣旨説明を行い、直ちに討論に入り、川崎守議員（共産）から議案第1号の修正案にかかわる部分を除く残余の部分並びに議案第6号、第9号ないし第15号及び第19号に関する反対討論があって、討論終結。

ついで、採決に入り、まず、議案第1号に関する修正案を問題とし、起立による採決の結果、

起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。次に、議案第1号のうち、修正案にかかわる原案部分を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第1号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、議案第6号、第9号ないし第15号及び第19号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第5号、第7号、第8号、第16号ないし第18号及び報告第1号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決または承認議決。ついで、

日程第2 議案第20号ないし第24号を議題とし、知事から提案説明があり、委員会付託を省略のうえ、直ちに採決に入り、まず、日程第2のうち、議案第20号、第21号及び第24号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決または同意議決。次に、日程第2のうち、議案第22号及び第23号を問題とし、異議なくいずれも原案のとおり同意議決。ついで、

日程第3 意見案第6号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案可決。ついで、

日程第4 意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立全員（共産退席）をもって原案可決。ついで、

日程第5 意見案第3号ないし第5号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なくいずれも原案のとおり可決。ついで、

日程第6 陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略のうえ、委員会決定（採択1件）のとおり決定。

次に、閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、異議なく各常任委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議

された案件をすべて議了。西尾六七議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後10時20分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、10月18日設置され、昭和54年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案4件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、分科正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に和田勝之君、副委員長に鈴木誠二君、第2分科会は、委員長に岡本栄太郎君、副委員長に佐藤静雄君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、19日から各部所管の審査に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、一般会計及び特別会計を合わせ24億500万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑応答が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なるものを申し上げますと、

福祉灯油に関する諸問題。原子力行政に関する諸問題。季節労働者の就労確保に関する諸問題。北広島団地開発と水道事業に関する諸問題。FRPサイロ対策に関する諸問題。道道小樽臨港線街路事業に関する諸問題。副知事の定数に関する諸

問題などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会におきまして、神本三也君外10人から修正案が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがって、議案第1号は、原案可決、議案第2号、第3号及び報告第1号は全会一致、原案可決及び承認議決と決定いたしました次第であります。

なお、議案第1号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 29	1	昭和54年度北海道一般会計補正予算（第3号）	予算特別	10. 26	原案可決
同	2	昭和54年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	3	昭和54年度北海道病院事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	4	北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計条例案	水 産	同	同
同	5	北海道立青少年の森条例案	文教林務	同	同
同	6	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	7	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	8	北海道心身障害者扶養共済制度条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	9	北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	10	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	総 務	同	同
同	11	街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	12	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	13	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水 産	同	同
同	14	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	15	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	文教林務	同	同
同	16	工事請負契約の締結（釧路市道営高層住宅新築工事（住之江団地））に関する件	建 設	同	同
同	17	財産の取得（航空機、富士ベル式 204 B-2 型ヘリコプター 1 機）に関する件	総 務	同	同
同	18	財産の取得（物品、多目的 X 線シネアジオ装置一式）に関する件	同	同	同
同	19	財産の取得（土地、勇払郡厚真町字共和88番 2 ほか23筆）に関する件	同	同	同
10. 26	20	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	21	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき 同意を求める件		同	同
同	22	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	23	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	24	特別職職員の退職手当の額を定める件		同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 29	1	専決処分報告につき承認を求める件（昭和54年度北海道一般会計補正予算（第2号）、9月8日専決処分）	予算特別	10. 26	承認議決
同	2	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定8月16日1件、8月24日2件、8月30日2件、9月11日1件、9月13日1件、9月20日4件専決処分）			報告のみ

第3回定例会において議員から提出のあった案件

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
9. 29	1	昭和54年産畑作物価格等に関する要望意見書	武部 勤君ほか 12人	9. 29	原案可決
10. 26	2	北方領土問題の解決促進に関する要望意見書	北村義和君ほか 11人	10. 26	同
同	3	地熱資源の開発利用促進に関する要望意見書	池島信吉君ほか 12人	同	同
同	4	昭和55年度水田利用再編対策に関する要望意見書	武部 勤君ほか 12人	同	同
同	5	一般消費税導入問題についての要望意見書	伊藤知則君ほか 13人	同	同
同	6	石炭鉱業安定のための需要確保等に関する要望意見書	工藤万砂美君ほか14人	同	同

修正動議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
10. 26	議案第1号 昭和54年度北海道一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議	岡本栄太郎君ほか33人	10. 26	否 決

前会から継続審査中の案件

報告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
7. 12	20	昭和53年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	9. 29	意見を付し認定議決
同	21	昭和53年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	22	昭和53年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	23	昭和53年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	24	昭和53年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	25	昭和53年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	26	昭和53年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付し認定議決

意見案

意見案第1号

(武部 勤君ほか12人提出)
9月29日 原案可決

昭和54年産畑作物価格等に関する要望意見書

北海道の畑作は、酪農、稲作とともに、本道農業の基幹部門であり、また、わが国の主要な畑作地帯として、国民食糧供給の重責を担っている。しかしながら、本道の畑作経営は、厳しい自然条件のもとにあって土地基盤整備の立ちおくれ、地力の低下など解決すべき多くの課題を抱えているばかりでなく、海外農産物の輸入量の増大による国内生産物への圧迫など経済的にも不安定な状況におかれており、積極的な生産・価格対策の推進が強く要請されている。

ついては、昭和54年産畑作物の生産者価格の決定にあたっては畑作農家が今後とも意欲をもって生産に取り組み、経営の安定を期し得るとともに、わが国の食糧自給率の向上に寄与することができるよう、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. てん菜の最低生産者価格について

てん菜の最低生産者価格については、未だ定着していない作付の実情、生産農家の所得水準、他作物との収益性の均衡等に十分配慮し、生産農家が意欲をもって耕作できるよう生産奨励金を価格に加え適正な価格に引き上げるとともに、てん菜の安定的な生産拡大と砂糖の効率的な生産を図るため、生産振興に対する積極的な措置を講ずること。

なお、国内糖価の適正な価格形成を図るため制度の適切な運営に努めること。

2. 馬鈴しょでん粉の政府買入価格及び原料基準価格について

馬鈴しょでん粉の政府買入価格及び原料基準価格については、馬鈴しょの生産が確保され農家所得の安定が期せられるよう適正な価格に引き上げるとともに、輸入とうもろこしを原料とするコーンスターチの生産が、馬鈴しょでん粉の需給に支障をきたすことのないよう十分配慮すること。

3. 大豆の基準価格について

大豆の基準価格については、生産農家が再生産を確保し、農家所得の安定に資することができる価格に引き上げること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
農林水産大臣

意見案第2号

(北村義和君ほか11人提出)
10月26日 原案可決

北方領土問題の解決促進に関する要望意見書

わが国固有の領土である歯舞群島、色丹島及び国後島、択捉島等の北方領土の復帰実現は、道民の長年にわたる願いであるにもかかわらず、いまなおその返還が実現していない。

北海道議会は、本年2月、国後及び択捉両島において、ソ連が軍事施設の構築などを進め

ていることについて、政府に対し速やかな撤回をソ連邦政府に要求するよう要請してきた。

しかるに、最近に至り色丹島においても新たな軍事的措置がはかられていることは、道民の生活不安を増大させ、更には漁業の安全操業や日ソ両国の平和友好関係促進にとって大きな影響を及ぼすことが憂慮され極めて遺憾である。

よって政府は、これらソ連の軍事的措置が速やかに撤回されるようソ連邦政府に対し要求するとともに、道民の悲願である北方領土問題の早期解決をはかり、平和条約を締結して日ソ間の安定的な平和友好関係を確立するよう強く要請する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
総理府総務長官 }

意見案第3号

(池島信吉君ほか12人提出)
10月26日 原案可決

地熱資源の開発利用促進に関する要望意見書

北海道は、地熱資源の賦存に恵まれており、これまでの地熱資源開発調査によって、きわめて利用価値の高い地熱源が発見され、森町濁川地区においては、すでに開発に着手されているが、その他の地域については、おおむね山間部に位置し、また、自然公園内にまたがるため開発利用がおくれている現況にある。

しかしながら、この地熱資源を有効適切に開発利用することは、石油代替エネルギーとして、わが国エネルギーの安定確保に貢献するばかりでなく、寒冷地である北海道にとっては、地域経済の発展及び住民の生活向上につながるものとして道民が大きく期待しているところであるので、これが開発利用の円滑な推進が図られるよう、次のことについて特段の配意をされるよう要望する。

記

1. 国による地熱開発促進調査の拡充強化

国による地熱賦存状況調査、熱水有効利用調査及び環境調査は、逐年その内容の充実が図られ、北海道においても諸調査が進められているが、まだ有望地域が多く残されているので、国による地熱開発促進調査の拡充強化を図られたい。

特に、優良な蒸気の噴出を見ている上川町白水沢地区の環境調査を早期に実施されたい。

2. 自然公園内における地熱開発事業の推進

自然公園内における地熱発電については、すでに開発された松川等6地域を除いて当分の間、地熱発電の調査及び開発を推進しないこととなっているが、自然環境の保全と調和を図りながら、地域の実情に応じた地熱開発が実施できるようにされたい。

特に、大雪山国立公園内上川町白水沢地区では、昭和43年度からの地熱資源調査の結果、発電に適する優良な蒸気の噴出を見ているので、環境保全との調和を図ることを前提に地熱発電等が実施できるよう配意されたい。

3. 地熱資源の開発体制の整備と助成制度の創設

地熱資源の開発は、事業リスクが高く、かつ需要地までの輸送施設等多額の先行投資を必要とするので、開発リスクを軽減し開発利用の円滑化を図るため、事業主体への出資及び長期低利の融資制度の強化並びに調査井掘削、多目的利用に係る諸施設建設費等に対する高率な国庫補助制度を創設されたい。

4. 地熱資源開発利用促進のための法体系の整備

現在、地熱資源の開発利用を推進するには法制面の裏づけに欠けており、また、現行諸法規がその遂行に支障となることもあるので、新たな法制度の制定等を含め、所要の法体系の整備を図られたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣、北海道開発庁長官、環境庁長官 } 各通

意見案第4号

(武部 勤君ほか12人提出)
10月26日 原案可決

昭和55年度水田利用再編対策に関する要望意見書

本道農業は、恵まれた土地資源を背景に発展を続け、食糧をめぐる内外の厳しい情勢の中で、国民食糧の安定的な供給に重要な役割りを果たしてきたところである。

しかしながら、米の過剰がますます深刻化している情勢の中で、本道農業の基幹部門である稲作の生産農家は、水田面積の35パーセントに及ぶ大幅な転作目標面積の配分を受け、加えて本年度より品質格差制度が導入されるなど、本道稲作農家が受ける影響はきわめて大きなものがある。

最近における米の需給の状況から、来年度の転作が大幅に拡大される方向にあるが、国は、このような厳しい本道稲作の実情を十分配慮され、農業経営の安定が図られるよう左記事項について強く要望する。

記

1. 本道に対する転作等目標面積の配分は全国の23パーセントに及び、水田面積に対する比率では府県の3倍に及ぶ35パーセントと著しく過重となっているので、このような傾斜配分を是正すること。
2. 米を基本とした食生活の確立を図るため、新米穀年度から全量新米の配給を行うとともに、米消費改善啓蒙宣伝対策の強化、米飯給食の拡充、米の新規用途の開発等を促進すること。

なお、道産米の都府県大消費地における消費の促進についても格別に配慮されたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣 } 各通

意見案第5号

(伊藤知則君ほか13人提出)
10月26日 原案可決

一般消費税導入問題についての要望意見書

政府は、財政危機の打開のための方策として一般消費税の創設を検討しているが、一般消費税などの間接税はその性格において弾力性が小さく、逆進性、物価上昇及び消費抑制作用等の諸点で国民生活に多大の影響がある。

特に、一般消費税は国内での商品やサービスなどあらゆる消費から負担を求めるものであるため、価格に上積みされ物価上昇の糸口となる懸念がある。

よって、政府においては、一般消費税の創設は国民的合意が得られない限り、これを実施しないよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣 }
大 蔵 大 臣 } 各通

意見案第6号

(工藤万砂美君ほか14人提出)
10月26日 原案可決

石炭鉱業安定のための需要確保等に関する要望意見書

北海道は、わが国最大の産炭地として戦後の経済復興から今日の繁栄に至るまでの間、エネルギー供給に多大の貢献をしてきたところであるが、最近における石油事情からわが国のエネルギーを取りまく諸情勢は誠に厳しく、今後石炭の担う役割はますます増大するものと考えられる。

従って、国においては石炭鉱業の長期安定のための諸施策の充実強化を図るよう、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. エネルギーの安定供給を図るため、本道にコールセンターを設置されたい。
2. 本道産炭地域に石炭液化等の実験プラント導入を図るとともに石炭化学コンビナートの造成を促進されたい。
3. 道内炭の有効活用を図るため、石炭火発の新設並びに設備更新などを促進されたい。
4. 石油代替エネルギーのなかで重要な位置を占める石炭利用技術の早期完成を図られたい。
5. 海外一般炭の輸入にあたっては、国内炭優先使用の原則を確立されたい。
6. 坑内骨格構造の整備拡充を図るため、助成制度の充実強化を図られたい。
7. 石炭鉱業企業合理化などに伴う退職資金の調達等については、格別の配慮を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 西 尾 六 七

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商 }
産業大臣、北海道開発庁長官 } 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
18	「農業振興地域整備に関する法律」第8条の規定により設定された農用地区域の一部除外の取扱いに関する件	札幌市西区手稲前田 551 番地 居住農業者代表 田中 三蔵	農 務	取下げ
19	養護学校高等部間口増に関する件	肢体不自由児を守る札幌父母の会 代表 藤谷瑠美子	文教林務	継続審査
20	道立釧路養護学校の通学バスの増車を求める件	釧路心身障害者団体連絡協議会 代表 山本 武雄	同	同
21	道立普通高校建設に関する件	亀田郡七飯町字本町 575 番地 七飯町長 金沢精一ほか 2 人	同	同
22	道立石狩高等学校の間口増に関する件	石狩高等学校間口増促進期成会 会長 岩佐 幸雄	同	同
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	石狩郡石狩町花川北 3 条 4 丁目 36 北海道ウイルス性肝炎友の会 佐藤 春男	厚 生	同
24	登別市に警察署設置の件	登別市長 中浜元三郎	総 務	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
6	道立高等学校（全日制普通科）の設置に関する件	函館潮見中学校内 函館市道立高等学校誘致促進期成会 会長 古川 照三	文教林務	継続審査
7	釧路村に町制施行の件	釧路郡釧路村長 高橋 睦ほか 1 人	総 務	同
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	小樽臨港線整備促進期成会 会長 川合 一成	建 設	同

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
4	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染に関する件	公害対策特別	採 択

③ 更に継続審査にされるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	伏古 3 条 4 丁目交差点の信号機早期設置の件	総 務
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
6	札幌市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	厚 生
1	苫小牧市錦岡団地（道営住宅）の下水道整備に関する件	建 設
7	生活協同組合市民生協が提出した店舗建設の建築確認申請書の取扱いに関する件	同
3	旧釧路第一高校を道立高校として再建する件	文 教 林 務
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	同
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文 教 林 務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○ 9月29日（土） 午前9時32分、議会運営委員会室において開議、午前9時38分散会
委員長 吉田 政一（自民）

- ① 意見案第1号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。
- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

日程第1 会議録署名議員の指定
諸般の報告
元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（9月29日から10月22日まで24日間）

日程第3 議案第1号ないし第19号及び報告第1号
提出議案に関する知事の説明

日程第4 前会より継続審査の報告第20号ないし第26号
企業会計決算特別委員長の報告
（討論）

1 本間喜代人議員の報告第23号ないし第26号に関する反対討論
（討論終結宣告）
（採決）

1 報告第23号ないし第26号を問題とし、委員長報告（報告第23号及び第26号は意見を付し認定議決、報告第24号及び第25号は認定議決）のとおり決することについて起立により採決
（共産反対）

2 報告第20号ないし第22号を問題とし、委員長報告（すべて意見を付し認定議決）のとおり決することについて簡易採決

日程第5 意見案第1号
意見案第1号 昭和54年産畑作物価格等に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

議案調査のための休会日の決定

（10月1日から10月9日まで）

○ 10月11日（木） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午前9時54分散会
委員長 吉田 政一（自民）

- ① 代表質問の通告（4人）について報告の後、本日の代表質問は、1番青木延男議員（社会）、2番小笠原孝議員（自民）の2人とすることに決定。なお、明日は代表質問終了後、できれば一般質問2人程度行うことを異議なく了承。
- ② 一般質問の通告（16人）について報告。順位については、従来の例により取り進めることを異議なく決定の後、個人別順位を議事課長から説明のとおり異議なく決定。
- ③ 委員長から、一般質問の進め方について、12日2人、13日5人、15日5人、16日4人とすることをはかり、各委員から通告内容及び通告変更について発言があつて了承し、委員長説明のとおり取り進めることに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号
質疑並びに一般質問（2人）

○ 10月12日（金） 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会
委員長 吉田 政一（自民）

- ① 一般質問の通告変更について異議なく了承。
- ② 本日の本会議の議事は、代表質問3人、一般質問2人とすることを異議なく決定。

○10月13日（土） 午前9時35分、議会運営委員会
会室において開議、午前9時
38分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 一般質問の通告変更について異議なく了承。
- ② 本日の一般質問は、5人とすることを異議なく決定。
- ③ 中央折衝のため農務委員4人の上京について了承。
- ④ 本日の本会議の議事は、一般質問の継続で5人とすることに決定。

○10月15日（月） 午前9時36分、議会運営委員会
会室において開議、午後5時
24分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 一般質問の通告変更について異議なく了承。
- ② 本日の一般質問は、4人とすることを異議なく決定。
- ③ 委員長から、予算特別委員会各分科委員の配分について、決定結果を報告。
- ④ 本日の本会議の議事は、一般質問の継続で4人とすることに決定、午前9時42分休憩、午後5時23分再開。
- ⑤ 委員長から、休憩前の本会議における舟山広治議員（社会）の議事進行発言の取扱いについて、議事録精査のための速記の反訳に相当時間を要するため、本日の本会議はこの程度にとどることとし、延会することをはかり、異議なく決定。

○10月16日（火） 午前9時42分、議会運営委員会
会室において開議、午後4時
43分散会

委員長 吉田 政一（自民）

副委員長辞任に伴う副委員長の互選

- ① 委員長から、青木延男副委員長（社会）から提出のあった副委員長の辞任願いを議題とし、これを許可することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、青木延男委員（社会）の委員辞任に伴い、議長指名により鈴木誠二議員（

社会）が補充選任された旨を報告。

- ③ 委員長から、副委員長互選の方法については、石山直行委員（自民）の動議により、指名推選の方法をもって、鈴木誠二委員（社会）を副委員長に選出。

その他の議事

- ① 委員長から、鈴木誠二議員（社会）の総合開発調査特別委員辞任並びに吉田英治議員（社会）の石炭対策特別委員辞任に伴う委員の補充については、総合開発調査特別委員に吉田英治議員（社会）、石炭対策特別委員に青木延男議員（社会）をそれぞれ補欠選任することを異議なく決定。
- ② 予算特別委員会について、委員の指名は、配付の名簿のとおり指名すること、設置動議は、伊藤豪議員（道政）に提出願うことを了承。
- ③ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ④ 総務部長から、追加提出予定案件について説明。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 特別委員補欠選任の件

- 1 総合開発調査特別委員鈴木誠二議員並びに石炭対策特別委員吉田英治議員の辞任を許可したことに伴い、吉田英治議員を総合開発調査特別委員に、青木延男議員を石炭対策特別委員にそれぞれ補欠選任することについて簡易採決

日程第2 議案第1号ないし第19号及び報告第1号

質疑並びに一般質問（5人）

- ⑥ 本日の本会議の開会時刻について意見交換の後、10時に開会することとし、日程第1を終了した後休憩することに異議なく決定。
- ⑦ 山家勇委員（社会）から、知事答弁に際し、部長が知事に代わって答弁する場合の内容について発言があり、委員長から応答、午前10時休憩、午後4時36分再開。

- ⑧ 本会議一般質問中断後の状況について、教育委員会管理部長から説明の後、各委員から発言があり、委員長から答弁調整になお時間を要することから、本日の本会議はこの程度にとどめ延会とすることををはかり、異議なく決定。

○10月17日（水） 午前9時51分、議会運営委員会室において開議、午後1時31分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 教育委員会管理部長から、答弁準備の状況について説明の後、午前9時53分休憩、午後1時26分再開。委員長から、答弁準備ができたことにより本会議は教育長の答弁から入ることをはかり異議なく了承。
- ② 本日の本会議の進め方について、各委員から発言の後、状況の判断については、委員長に一任することを異議なく了承。
- ③ 本日の本会議の議事は、質疑並びに一般質問の継続で5人とすることに決定。

○10月18日（木） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時38分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 本日の一般質問は1人行うことを異議なく決定。
- ② 各委員会付託議案審査のため、10月19日から10月20日まで休会し、10月22日再開することに異議なく決定。
- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号

質疑並びに一般質問（1人）

（質疑終結宣告）

○ 予算特別委員会設置

○ 予算特別委員の指名

○ 議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定

（10月19日から10月20日まで）

○10月22日（月） 午後1時22分、議会運営委員会室において開議、午後4時21分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 予算特別委員長から、付託議案の審議状況について報告。
- ② 会期の問題を各派で検討することを異議なく了承、午後1時25分休憩、午後4時20分再開。
- ③ 会期を10月25日まで3日間延長することに異議なく決定。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、10月23日から10月24日まで休会し、10月25日再開することに異議なく決定。
- ⑤ 本日の本会議において、知事から台風20号による被害の概要を報告することを了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

台風20号に関する知事の発言

日程第1 会期延長の件

各委員会付託議案審査のため休会の決定

（10月23日から10月24日まで）

○10月25日（木） 午前9時49分、議会運営委員会室において開議、午後7時10分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長及び予算特別委員長から、付託議案の審議状況について報告、午前9時50分休憩、午後4時23分再開。
- ② 委員長から、取りあえず時間延長することををはかり異議なく決定、午後4時24分休憩、午後6時50分再開。
- ③ 予算特別委員長から、付託議案の審議状況について報告。
- ④ 会期延長問題に関し、議対幹事長会議の経緯について各委員並びに議長から発言の後、午後7時休憩、午後7時4分再開。
- ⑤ 委員長から、会期を10月26日まで1日間延長することををはかり異議なく決定。

- ⑥ 本日の本会議の議事は、会期延長の件を議題とし、1日間延長することと決定。
- ⑦ 保格博夫委員（社会）から、10月17日の一般質問における木下一見議員の発言と9月1日、9月28日の厚生委員会の決定に関し問題提起があり、議長から発言のとおり取り進めることを異議なく了承。

○ 10月26日（金） 午後1時3分、議会運営委員会室において開議、午後9時30分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告、午後1時4分休憩、午後4時16分再開。取りあえず時間延長することを異議なく決定、午後4時18分休憩、午後9時20分再開。
- ② 総務部長から、追加提出議案について説明。
- ③ 追加提出の議案第20号ないし第24号については、本日の本会議において議決する扱いとすることを異議なく決定。
- ④ 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。
- ⑤ 岡本栄太郎議員（社会）ほか33人提出の議案第1号に対する修正案について、本日の本会議に上程することを異議なく決定。
- ⑥ 意見案第2号ないし第6号の取り扱いについて、本日の本会議において議決することを異議なく決定の後、川崎守オブザーバー（共産、代理出席）から、共産党としては意見案第2号については棄権、第6号については反対の態度をとる旨を発言。
- ⑦ 事務局長から、配付資料等の一部訂正について発言があり了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

諸般の報告

日程第1 議案第1号ないし第19号及び報告第1号
 予算特別、水産、文教林務、総務、厚生、建設各委員長の報告
 岡本栄太郎議員の議案第1号の修正案に関する説明

（討論）

- 1 川崎守議員の議案第1号の修正案にかかわる部分を除く残余の部分並びに議案第6号、第9号ないし第15号及び第19号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

- 1 岡本栄太郎議員ほか33人提出の議案第1号に関する修正案を問題とし、起立により採決（自民、道政反対）
- 2 議案第1号の予算特別委員長の報告中、修正案にかかわる部分を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決（社会、公明、共産反対）
- 3 議案第1号の予算特別委員長の報告中、すでに決定した部分を除く残余の部分の問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決（共産反対）
- 4 議案第6号、第9号ないし第15号及び第19号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立により採決（社会、公明、共産反対）
- 5 議案第2号ないし第5号、第7号、第8号、第16号ないし第18号及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて簡易採決
- 日程第2 議案第20号ないし第24号追加提出議案に関する知事の説明
 （委員会付託省略）
 （採決）
- 1 議案第20号、第21号及び第24号を問題とし、議案第20号及び

第21号を原案のとおり同意、議案第24号を原案のとおり決することについて起立により採決
(共産反対)

- 2 議案第22号及び第23号を問題とし、本件をいずれも原案のとおり同意することについて簡易採決

日程第3 意見案第6号

意見案第6号 石炭鉱業安定のための需要確保等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて起立により採決
(共産反対)

日程第4 意見案第2号

意見案第2号 北方領土問題の解決促進に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて起立により採決

日程第5 意見案第3号ないし第5号

意見案第3号 地熱資源の開発利用促進に関する要望意見書

意見案第4号 昭和55年度水田利用再編対策に関する要望意見書

意見案第5号 一般消費税導入問題についての要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第6 陳情審査の件(採択1件)

(委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件を陳情審査報告書(採択)のとおり決することについて簡易採決

閉会申請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長から、申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決
(議長の閉会あいさつ)

○ 11月9日(金) 午後1時15分、議会運営委員会室において**議会効率化小委員会**を開議、午後4時10分散会

小委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、他都県の議会運営状況調査結果の概要を配付資料により報告。

- ② 検討事項について、配付資料のとおり確認の後、今後の進め方について、未審議事項について一通り検討することを異議なく了承、順次提出会派から説明し、各委員から意見の交換を行った。

- ③ 次に、検討事項のうち決算特別委員会の審査関係の検討に入り、各委員から意見の交換を行った。

○ 11月10日(土) 午前10時21分、議会運営委員会室において**議会効率化小委員会**を開議、午後3時散会

小委員長 吉田 政一(自民)

- 決算特別委員会の審査関係の検討を続行、(1)決算特別委員会の審査方法、(2)総体質疑について各委員から意見の交換があった。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○ 10月26日（金） 午後7時35分、第5委員会室
において開議、午後7時57分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第6号（札幌医科大学条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、小田原要四蔵委員（社会）から反対の意見があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第7号（北海道恩給条例等の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第10号（空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、小田原要四蔵委員（社会）から反対の意見があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第17号（財産（ヘリコプター）の取得に関する件）及び議案第18号（財産（医療機器）の取得に関する件）をそれぞれ議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ⑤ 議案第19号（財産（土地）の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、小田原要四蔵委員（社会）から反対の意見があって、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決

定。

- ② 委員長から、一般消費税導入問題についての要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 総務部長から、台風20号による被害状況及び対策措置状況について報告。

○ 10月27日（土） 午前10時49分、第5委員会室
において開議、午前11時7分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、過疎対策及び自然保護対策等の推進状況調査のための道外調査の実施、釧路村の町制施行に関する現地調査の実施並びに一般消費税導入問題についての要望及び過疎地域対策緊急措置法の施行期間の延長に関する中央折衝の実施についてそれぞれはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 小田原要四蔵委員（社会）から、(1)道地下資源調査所のカラ出張問題に関し、徹底的な究明と関係者の処分の必要性、チェック機能と予算編成の見直し、(2)20号台風災害に関し、南茅部町の死亡事故の発生状況、防災対策、被災地域の急傾斜地崩壊危険区域の指定の有無及び道の対処策について質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

本日聴取した陳情

釧路村に町制施行の件について 釧路村長

○ 11月5日（月） 午後零時2分、第5委員会室
において開議、午後1時28分
散会
委員長 伊藤 知則（自民）

一 般 議 事

- ① 人事委員会事務局長から、昭和54年給与に関する報告及び勧告の概要について説明の後、
小田原要四蔵委員（社会）から、高齢者職員の昇給停止及び延伸措置に対する見解、勧告完全実施の考え、週休2日制の導入についての考え方

小野秀夫委員（道政）から、勤務時間較差と給与較差との関連、正規の勤務時間、調整手当に対する見解について
質疑及び意見があり、総務部長及び人事委員会事務局長から答弁。

- ② 小田原要四蔵委員（社会）から、自衛隊記念行事の知事出席の手続き、式典は知事、アトラクションは個人の出席とした経緯と理由、知事祝辞の内容と作成先、制服を着用して出席した考え方

中田繁夫委員（社会）から、公・私人の区別理由、知事あいさつの内容

舟山広治委員（社会）から、北部方面本部からの文書受理状況と処理経過、あいさつ文の処理状況、記念行事とアトラクションの相違

藤井猛委員（自民）から、知事の制服着用による行動内容、知事あいさつの状況

高橋賢一委員（自民）から、観閲式は行事かアトラクションかの区別について
質疑、意見及び要望があり、審議室長から答弁。

舟山広治委員（社会）から、このような場合に知事の委員会出席を求めることについての検討及び祝辞メモの提出について委員長に措置要求があった。

厚生委員会

- 10月26日（金） 午後7時28分、第9委員会室において開議、午後7時32分散会
委員長 宇野 真平（自民）

付託案件の審査

- 議案第8号（北海道心身障害者扶養共済制度条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の

申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 10月27日（土） 午前11時7分、第9委員会室において開議、午後零時17分散会

委員長 宇野 真平（自民）

一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、台風20号による災害状況と対策について説明。
② 山家勇委員（社会）から、道社協役員の専従制による運営強化の考え及び精薄施設銀山学園の運営実態の調査並びに老人福祉施設清幌園長辞任問題に対する見解について
（関連して、保格博夫委員（社会）から、3定における木下一見議員の一般質問の受けとめ方について）
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

- 11月5日（月） 午後2時9分、第9委員会室において開議、午後3時50分散会

委員長 宇野 真平（自民）

一般議事

- ① 委員長から、沖縄北霊碑慰霊祭参加の件をはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
② 衛生部長から、北海道保健医療基本計画について説明の後、
山家勇委員（社会）から、北海道保健医療基本計画と北海道発展計画との整合性、北海道地域医療に係る総医協の答申との関連、関係協議会等に支払側の意見を取り入れる考え、計画の財源対策、地域格差是正の組み入れ及び推進体制等について
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。
③ 保格博夫委員（社会）から、種痘による後遺症とその救済状況
山家勇委員（社会）から、生薬公社の現状と再建計画の進捗状況、新製品開発に対する別出資等の考え及び再建目途について
質疑及び要望があり、衛生部長から答弁。

- ④ 木下一見委員（道政）から、同委員の第3回定例会における一般質問（社会福祉施設に対する監査等）について発言の後、

保格博夫委員（社会）及び輪島幸雄委員（社会）から発言があり、理事会で協議のため、午後3時29分休憩、午後3時46分再開。

保格博夫委員（社会）から、委員長に対し措置要求があり、委員長から応答。

商 工 労 働 委 員 会

○ 10月26日（金） 午後7時25分、第8委員会室において開議、午後7時27分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、地熱資源の開発利用促進に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、地熱資源開発利用促進要望に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 10月27日（土） 午前10時25分、第8委員会室において開議、午前10時40分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道外における商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期は11月25日から30日までの6日間、実施場所は沖縄県とし、派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ② 商工観光部長及び労働部長から、台風20号による被害状況についてそれぞれ説明。
- ③ 労働部長から、高年齢者及び身体障害者の雇用状況並びに制度資金の融資利率の改訂について説明。

○ 11月2日（金） 午後1時23分、第8委員会室において開議、午後1時44分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した地熱資源開発利用促進に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 関根建二委員（社会）から、年末の道内中小企業金融の見通し、信用保証協会の窓口対応のあり方、役員の増員理由と内部登用の考え方及び退職金規定等について質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

農 務 委 員 会

○ 10月26日（金） 午後7時18分、第7委員会室において開議、午後7時20分散会

委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、請願第18号（「農業振興地域整備に関する法律」第8条の規定により設定された農用地区域の一部除外の取扱いに関する件）について、取下げの申し出があり、委員会付託が取消された旨を報告。
- ② 委員長から、昭和55年度水田利用再編対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 10月27日（土） 午前10時27分、第7委員会室において開議、午前11時26分散会

委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和54年産畑

作物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 農務部長から、昭和54年産畑作物価格等について報告の後、

神本三也委員（社会）から、てん菜品質向上対策事業及びてん菜生産奨励金の交付方法等

岡本栄太郎委員（社会）から、てん菜生産奨励金打ち切り後の道の対応等について質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

- ③ 農務部長から、台風20号による農業被害について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、果樹被害に対する具体的な対策について質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

- ④ 農務部長から、FRPサイロの事故について報告の後、

湯田倉治委員（道政）から、FRPサイロ建設業者に対する措置と指導、補助金対象サイロの規格、事故原因の究明等

佐々木豊委員（自民）から、FRPサイロの取扱い業者と業者別設置数及び補助対象事業の実施主体

神本三也委員（社会）から、事故原因の早急究明、総点検の結果、事故発生サイロの補助金対象除外及び事故外サイロに対する考え方

岡本栄太郎委員（社会）から、被害補償についての道の対応、事故後の措置状況等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、次回委員会においてFRPサイロメーカーから事情聴取することについて発言があり、この取扱いについては、理事会において協議することとした。

○ 11月2日（金） 午前10時43分、第7委員会室において開議、午後1時50分散会

委員長 武部 勤（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度水

田利用再編対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 農務部長から、FRPサイロについて報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、事故原因究明の見通しと事後対策、FRPサイロ検討委員会における具体的な検討内容と検討結果の判明時期等

松本勇委員（自民）から、建築基準法上のFRPサイロの規格、完工検査等の確認方法
湯田倉治委員（道政）から、補助事業の対象とした農林水産省の耐久力データー、メーカー及び建築業者等の責任の明確化

佐々木豊委員（自民）から、日本建築センターの評定書に基づく事故原因の再検討、被害農家に対する補償と飼料確保対策

高橋正四郎委員（自民）から、明年のFRPサイロ導入に対する考え方、下請業者の選定、コンクリートサイロ、ブロックサイロの見直し等

吉野之雄委員（社会）から、日本建築センターの認定についての信頼度について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ③ 岡本栄太郎委員（社会）から、来年度の水田利用再編対策における国の姿勢と道の対応
工藤啓二委員（公明）から、減反問題に対する農業団体等との意見調整及び道の指導

佐藤静夫委員（自民）から、台風20号災害による果樹被害についての資金需要、共済制度の見直し等

川口常人委員（自民）から、台風20号災害に係る河川による農作物被害の防止対策

神本三也委員（社会）から、(1)畑作問題に関し、台風20号災害に伴う畑作被害の対策、稲作転換に伴う畑作への影響と対策、てん菜生産奨励金の廃止に伴う道の考え方、本道農業における小麦の位置付けと対応策及び品質試験研究の必要性、(2)酪農問題に関し、生乳生産調整事業の完了目途、生乳生産調整が農家に与える影響、余り乳等今後の酪農対策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ④ 大平秀雄委員（自民）から、水田利用再編対策に関する中央折衝の委員会取り組みについて発言があった。

建設委員会

○10月26日（金） 午後7時21分、第4委員会室
において開議、午後7時27分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第11号（街路事業に伴う地方公共団体の負担金（千歳線鉄道高架事業）に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対、公明欠席）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第12号（流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金（石狩川及び十勝川流域下水道事業）に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対、公明欠席）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第16号（工事請負契約の締結（釧路市道宮高層住宅新築工事（住之江団地）に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- 付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月27日（土） 午前10時29分、第4委員会室
において開議、午前11時46分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、台風20号による被害及び対策の措置状況について報告の後、

萩上元春委員（社会）から、南茅部町木直地区が急傾斜地崩壊危険区域に指定されない理由、指定基準の運用及び林務部との連携等について

質疑及び要望があり、土木部長から答弁。

- ③ 高木繁光委員（自民）から、羊ヶ丘通の街路事業の概要、事業着手の遅延理由及び事業推進についての札幌市及び農業試験場等への働きかけ等

藤井虎雄委員（社会）から、FRPサイロの倒壊問題に関し、FRPサイロの建築基準法上の位置づけ、施工上の問題点、確認申請の取り扱い所管、日本建築センターの評定における実験方法と内容、確認申請の提出件数、メーカーの実物実験の内容及び未確認申請への対処のしかたについて

質疑があり、住宅都市部長から答弁。

○11月12日（月） 午後1時25分、第4委員会室
において開議、午後1時33分
散会
委員長 水沼 徳一郎（自民）

一般議事

- ① 土木部長から、昭和54年度除雪計画の概要について説明の後、
湯本芳志委員（社会）から、除雪作業にあたっての道職員の自らの安全と一般住民に対する事故防止について要望。
- ② 住宅都市部長から、大麻駅前業務センターの土地分譲事件に係わる職員の処分について報告。

農地開発委員会

○10月26日（金） 午後7時21分、第3委員会室
において開議、午後7時26分
散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議な

く決定。

- ② 農地開発部長から、台風20号による農地、農業用施設の被害状況について報告。

○10月27日（土） 午前10時18分、第3委員会室
において開議、午前10時24分
散会

委員長 高田 忠雄（道政）

一 般 議 事

- ① 委員長から、他府県における農業基盤整備事業等の事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 農地開発部長から、道営工事の第2・4半期における発注実績について説明。

○11月5日（月） 午後1時15分、第3委員会室
において開議、午後1時24分
散会

委員長 高田 忠雄（道政）

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和55年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 農地開発部長から、台風20号による農地、農業用施設の被害及び措置状況などについて説明。

水 産 委 員 会

○10月26日（金） 午後7時27分、第6委員会室
において開議、午後7時30分
散会

委員長 小笠原 孝（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第13号（沿岸漁業場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）及び議案第14号（漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を一括議題とし、水産部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第4号（北海道沿岸漁業改善資金貸付

事業特別会計条例案）を議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

一 般 議 事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月27日（土） 午前10時44分、第6委員会室
において開議、午前11時32分
散会

委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、道内における水産事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 水産部長から、台風20号の災害報告及び対策措置について説明の後、

長岡寅雄委員（社会）から、渡島支庁管内の漁業地域における危険作業場等についての善処方、被害額の算定方法

星野健三委員（社会）から、被害額と復旧額の相違

岩崎守男委員（社会）から、作業所に対する復旧措置、韓国漁船の領海内海難事故の実態を把握できない要因と対応策、緊急入域をしなかった理由と海難救助協定締結の必要性、韓国漁船の赤イカ流し網の操業実態と資源保護との関連

川崎守委員（共産）から、台風20号の天災融資法の適用の見通しと栽培漁業関係の復旧についての考え方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長及び漁政課長から答弁。

- ③ 長岡寅雄委員（社会）から、噴火湾産ホタテの貝毒の現状と今後の対策、噴火湾の汚泥調査の結果等について

質疑及び要望があり、水産部長から答弁。

○11月5日（月） 午後1時54分、第6委員会室
において開議、午後3時2分
散会

委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

① 委員長から、道外における水産事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

② 水産部長から、日ソ漁業交渉にかかる要望等について説明の後、

星野健三委員（社会）から、要望書中の北方四島の取扱いについて、道議会の決議の表現との関連

新沼浩委員（自民）から、オホーツク海ツブ・カニ漁業の昨年要望の有無

石崎喜太郎委員（自民）から、オホーツク海ツブ・カニについて要望書に組み入れる考えについて

質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

③ 川崎守委員（共産）から、小平町における定置網の損傷被害の原因と水路通報及び航行警報のシステムとの関連、通知義務についての海上保安部との取り決めの有無、水路通報の基本的なあり方と事故責任の所在等について

質疑があり、水産部長から答弁。

文 教 林 務 委 員 会

○ 10月26日（金） 午後7時20分、第10委員会室において開議、午後7時28分散会

委員長 熊谷 克治（社会）

付託案件の審査

① 議案第9号（北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案）、第15号（林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）をそれぞれ議題とし、教育長及び林務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。

② 議案第5号（北海道立青少年の森条例案）を議題とし、林務部長から説明の後、

吉田英治委員（社会）から、運営方法について質疑があり、林務部長から答弁があって、異議なく原案とおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員

長に一任することとした。

一 般 議 事

○ 付託の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○ 10月27日（土） 午前10時40分、第10委員会室において開議、午前10時55分散会

委員長 熊谷 克治（社会）

一 般 議 事

① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

② 教育長及び林務部長から、台風20号による災害状況について説明の後、

米村邦敏委員（社会）から、教育活動等への影響、河川利用ふ化事業の被害及び沿岸漁業への影響、治山施設の災害対策

吉田英治委員（社会）から、危険校舎の災害及び危険度増加の有無、復旧対応策、私学関係の被害状況について

質疑があり、教育長、林務部長及び学事課長から答弁。

○ 11月2日（金） 午後1時44分、第10委員会室において開議、午後2時59分散会

委員長 熊谷 克治（社会）

一 般 議 事

① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

② 吉田英治委員（社会）から、在学青少年問題懇話会の開催状況と継続活動の考え、児童・生徒の非行問題に対する措置及び原因探求による予防対策の必要性、処分の検討方

本間喜代人委員（共産）から、高校の屋内体育館面積の検討の考え、適正配置計画についての地元協議のしかたについて

質疑及び意見があり、教育長から答弁。

本日聴取した陳情

道立高等学校設置及び間口増等について

七飯町議会道立高校誘致特別委員会委員長

苫小牧公立高校新設をすすめる会会長

白老町議会白老高校設置特別委員会委員長

○ 11月29日（木） 午後1時33分、第10委員会室
において開議、午後3時13分
散会

委員長 熊谷 克治（社会）

一 般 議 事

○ 教育長から、昭和55年度公立高等学校適正
配置計画について説明の後、

米村邦敏委員（社会）から、全員入学につ
いての基本的な考え方、地元高校入学希望に
対する考え方、教育の機会均等と間口減少措
置との関連、学級減の基準及び過疎地域にお
ける問題点、定時制学級増の希望に対する措
置

若狹靖委員（自民）から、釧路市の間口増
における旧釧路第一高校利用の考えと道立と
して開校する場合の利用方法及び予算措置

本間喜代人委員（共産）から、本年度の目
標進学率、新設高校の収容間口、定時制の学
級減及び三笠高校、夕張東高校の間口減につ
いての考え方、帯広市立高校の希望間口数と
今後の対応、三笠高校の間口減に対する地元
との対応、石狩、厚真高校等の間口数に対す
る今後の対応と後期計画における配慮方等

吉田英治委員（社会）から、北海道の進学
率に対する見解、職訓、各種学校についての
調査方及び目標進学率、三笠高校に対する措
置検討状況と遠距離通学生及び過疎産炭地に
対する配慮方、適正配置計画の早期計画方等

野村權作委員（自民）から、公立高校の間
口増加の私学に及ぼす影響と私学との協議状
況、旭川市の間口増に伴う生徒数の推計方法、
私学の存置方について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び教育
庁管理部長から答弁。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○ 10月15日（月） 午後5時37分、第1委員会室
において開議、午後5時38分
散会

委員長 作田 政次（自民）

○ 委員長から、鈴木誠二副委員長（社会）の
辞任についてはかり、異議なく辞任を許可。

○ 10月16日（火） 午後零時36分、第1委員会室
において開議、午後零時38分
散会

委員長 作田 政次（自民）

開議に先だち、委員長から、本日の本会議に
おいて鈴木誠二委員（社会）の辞任に伴い、吉
田英治委員（社会）が補充選任された旨を報告。

副委員長の互選

○ 委員長から、副委員長互選の方法について
はかり、青山正男委員（自民）の動議により
指名推選の方法をもって、吉田英治委員（社
会）を副委員長に選出。

石炭対策特別委員会

○ 10月26日（金） 午後1時8分、第11委員会室
において開議、午後1時15分
散会

委員長 工藤 万砂美（自民）

開議に先だち、委員長から、去る10月16日の
本会議において、吉田英治委員（社会）の辞任
が認められ、青木延男委員（社会）が補充選任
された旨報告。

① 委員長から、理事の吉田英治委員（社会）
の辞任に伴い青木延男委員（社会）を理事に
選任すること及び議席について現在着席のど
おりとすることをはかり、異議なく決定。

② 委員長から、石炭鉱業安定のための需要確
保等に関する要望意見案について、配付の案
文により発議することをはかり、異議なく決
定。

③ 委員長から、石炭鉱業問題に関する中央折
衝の実施についてはかり、異議なく決定。実

施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

北方領土対策特別委員会

○ 10月26日（金） 午後7時45分、第3委員会室
において開議、午後7時55分
散会

委員長 北村 義和（自民）

- ① 領対本部長から、色丹島のソ連軍事基地について報告。
- ② 委員長から、北方領土問題の解決促進に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。本要望意見案に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

石油緊急対策特別委員会

○ 11月19日（月） 午後2時47分、第1委員会室
において開議、午後4時15分
散会

委員長 高橋 賢一（自民）

- ① 商工観光部長及び生活環境部長から、最近の石油をめぐる諸情勢と道の対策についてそれぞれ報告の後、
湯田倉治委員（道政）から、20%値上げ予想の報道に対する考え方
岩崎守男委員（社会）から、スポット買い、円安などの値上げ要素に対する見解、福祉灯油実施の考え
川崎守委員（共産）から、地域間の価格格差及び小売マージンに対する見解、今後の値上げの見通し、弱者に対する道の方針、指導価格設定に対する国の考え方
保格博夫委員（社会）から、指導価格設定の見通し、共同購入を中止したグループへの対策、苦情処理体制についての問題の有無、備蓄量の把握方法、プロパン価格の値上げ実態とハイ・タク用の量の確保
工藤万砂美委員（自民）から、供給不足の場合の備蓄取り崩しの限度
小野秀夫委員（道政）から、明年度以降に

おける家庭用暖房の中期的展望について
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、生活環境部長及び民生部長から答弁。

- ② 委員長から、石油の供給確保と価格の抑制に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

予算特別委員会

○10月18日(木) 午後零時24分、第1委員会室
において開議、午後零時35分
散会
委員長 大平 秀雄(自民)

正副委員長の互選

- ① 高橋正四郎臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、岡本栄太郎委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、大平秀雄委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、和田勝之委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって、湯本芳志委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時29分休憩、午後零時31分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員(15人)

神本 三也(社会)	木本 由孝(自民)
木下 一見(道政)	中川 義雄(自民)
工藤 啓二(公明)	川崎 守(共産)
浅川 正敏(自民)	高木 繁光(自民)
野村 權作(自民)	和田 勝之(自民)
武部 勤(自民)	鈴木 誠二(社会)
中田 繁夫(社会)	湯本 芳志(社会)
高橋正四郎(自民)	

○第2分科委員(15人)

高橋 康之(自民)	勝木 省三(道政)
-----------	-----------

中川 隆之(道政)	吉川 貴盛(自民)
吉野 之雄(社会)	岡本栄太郎(社会)
佐藤 静雄(自民)	寺崎 政朝(自民)
米田 忠雄(自民)	笹浪 幸男(自民)
保格 博夫(社会)	藤井 虎雄(社会)
星野 健三(社会)	若狭 靖(自民)
作田 政次(自民)	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について通告の形式により、一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会において協議のうえ、これを行うことをはかり、異議なく決定。

第1分科会

○10月18日(木) 午後零時40分、第1委員会室
において開議、午後零時49分
散会
第1分科委員長
和田 勝之(自民)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に和田勝之委員(自民)、分科副委員長に鈴木誠二委員(社会)をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うこと及び共産党についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり異議なく決定。理事には、中川義雄委員(自

民)、神本三也委員(社会)、木下一見委員(道政)及び工藤啓二委員(公明)をそれぞれ選出。

- ④ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○ 10月19日(金) 午前10時6分、第1委員会室
において開議、午後3時51分
散会

第1分科委員長

和田 勝之(自民)

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員(社会)から、

交通事故防止問題に関し、深川市の国道12号線で発生した大型事故の受けとめ方及び事故の概要と捜査状況、釧路管内白糠町の国道38号線の追突事故に対する処分の結果とあり方、第2回定例会以降の大型トラック事故防止に対する措置状況、大型自動車の運行実態調査の結果及び事故防止に対する今後の方針、運転者の労働基準に対する考え方、関係行政機関との協議内容と効果及び連けいのあり方、芦別市で発生したフォークリフト事故の内容と捜査状況、特殊車両運行の保安基準と法的規制の働きかけ等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長及び交通部長から答弁があつて、公安委員会所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前11時15分休憩、午前11時18分再開。

- ② 民生部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員(社会)から、

福祉灯油に関し、定例会における知事答弁の趣旨と49年の国及び道の助成措置の実施目的との関連、48、49年当時と現在との経済情勢の変化並びに物価・賃金の変動に伴う道民生活の実態認識、灯油の値上りによる弱者の生活への影響と具体的な救済措置の考え及び取り組み状況、生活保護世帯に対する特別基準の折衝経過及び設定価格の見通し、福祉行政についての基本的な考え方等について

鈴木 誠二委員(社会)から、

児童の育成施設に関し、子供の国の今後の設置計画、砂川市における子供の国の完成目途と遊戯的施設の設置の考え及び早期整備方

について

川崎 守委員(共産)から、

福祉対策に関し、心身障害者の公共施設の利用料の減免等に対する条例・規則の適用実態と心身障害者対策基本法との整合性、社会福祉センターの使用料減免の規則設定方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があつて、民生部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により、午後零時44分休憩、午後2時5分再開。

- ③ 衛生部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人委員(共産)の質疑通告の取り下げの申し出があつた旨を報告、ついで、

鈴木 誠二委員(社会)から、

(1) 保健所行政に関し、道政における保健所行政の位置づけと保健所活動に対する実施策の十分性及び機能拡充方、保健所長の欠員に対する認識、欠員解消についての取り組み状況と今後の対応策及び充足の見通し等について

(2) 乳幼児医療費に関し、公費負担制度による償還方式の現物給付方式への切り替えに対する取り組み状況と医師会の対応状況、現物給付の全道実施に対する取り組み方、国における公費負担制度の制度化の見通し、乳児医療制度の拡充に対する市町村、医師会への協力要請方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて、衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後3時6分休憩、午後3時10分再開。

- ④ 生活環境部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二委員(公明)の質疑通告の取り下げの申し出があつた旨を報告、ついで、

吉田 英治委員(社会)から、

(1) 道立自然公園の充実に関し、道立自然公園の現況と施設整備の拡充及び指定の考え方、岩見沢自然休養林を道立自然公園に含めることについての検討方等

(2) 動物の保護、管理に関し、道内における猛獣等の飼養展示状況と調査時点及び人身事故の発生状況、飼養管理についての道の対策と指導状況、猛獣等の飼養展示施設計

画の把握状況、動物の保護及び管理に関する条例制定の考え方と早期実施方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁の後、分科委員長から吉野之雄委員（社会）の質疑通告の取り下げの申し出があった旨の報告があつて、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○ 10月20日（土） 午前10時50分、第1委員会室
において開議、午後3時6分
散会

第1分科委員長

和田 勝之（自民）

① 開発調整部所管に対する質疑に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

苫東開発計画と産業振興に関し、発展計画に係る北海道経済の活力ある実現についての考え方と苫東開発及び産業振興との関連、苫東開発に係る重化学工業の誘致見通しと道内資源の活用及び地場産業の育成振興に対する考え方、民間企業の設備投資状況及び助成拡充の心要性、苫東第3セクターに係る用地価格高騰の実態と今後の対応策等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時41分休憩、午後1時5分再開し、ついで、

小野 秀夫委員（道政）から、

(1) 石狩湾新港に関し、石狩湾新港地域立地企業の選定についての考え方、石狩新港と小樽港との機能分担と貨物取扱量の見直しについての検討結果、港湾貨物取扱量の変更に伴う発展計画との整合性及び石狩湾新港の基本計画との関連

(2) 苫東開発に関し、苫東開発に係る石油関連諸計画の石油消費量と最近における輸入目標量についての認識、東京サミット後の輸入石油量とエネルギーの需給見通し及び苫東開発の見直し作業との関連、長期エネルギー暫定見通しについての必要設備能力と発展計画における見込量及び基礎データの明確化、石油事情の変化に伴う諸計画見直しの可能性、石油輸入量についての道の見通しと対応方針、石油化学の国内、海外立地に対する見解、自動車産業の苫東立地

の見通し及び鉄鋼の設備増強の可能性と誘致見通し等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁があつて、企業局及び開発調整部所管に対する質疑を終結。

○ 10月22日（月） 午前11時15分、第1委員会室
において開議、午後5時3分
散会

第1分科委員長

和田 勝之（自民）

○ 総務部所管に対する質疑に入り、

中田 繁夫委員（社会）から、

道庁西地区市街地再開発の道庁別館買収に関し、庁舎取得を市街地再開発事業により行うに至った経過と考え方、取得を要請された時期と相手方、別館取得方針の決定時期、再開発事業による庁舎取得の適否、再開発組合が実施したものを道が住宅供給公社から取得した経緯、公社が再開発組合の参加組合員となった目的と経緯、公社の設置目的と業務の範囲、公社が住宅、宅地以外の不動産を取得することの適否、道が再開組合の組合員とならなかった理由、住宅金融公庫融資の取扱い、公社が参加組合員となったことと業務の委託を受けたこととの関連、公社が参加組合員として負担した金額の積算基礎、住宅棟部分の負担額について

質疑及び意見があり答弁調整のため、午後3時46分休憩、午後5時2分再開し、直ちに散会。

○ 10月23日（火） 午前11時9分、第1委員会室
において開議、午後4時46分
散会

第1分科委員長

和田 勝之（自民）

○ 総務部所管に対する質疑の続行、

総務部長から、昨日の中田繁夫委員（社会）の質疑に対する答弁の後、

中田繁夫委員（社会）から、

道庁西地区市街地再開発の道庁別館買収に関し、住宅棟部分の価格が業務棟価格に上乗せとなっている事実の有無、再開発組合が住宅棟を安い価格とした経緯と業務委託された

公社が果たした役割、道が取得した別館価格の積算基礎について

質疑及び意見があり、鈴木誠二委員（社会）から、議事進行発言があって、午後3時28分休憩、午後4時45分再開し、直ちに散会。

- 10月24日（水） 午後4時4分、第1委員会室において開議、午後4時52分散会
第1分科委員長
和田 勝之（自民）

- 総務部所管に対する質疑の続行、
総務部長から、昨日の中田繁夫委員（社会）の質疑に対する補足答弁の後、
中田繁夫委員（社会）から、

道庁西地区市街地再開発の道庁別館買収に関し、別館庁舎取得価格に住宅棟などの建設費が上乗せされていることの重大性、再開発事業の権利変換をめぐる問題等について

山家勇委員（社会）から、

(1) 郡制度問題に関し、郡制度に対する見解、
1郡1町の場合の存在意義、郡を廃止又は再編成する考えと今後の対策

(2) 職員の再就職問題に関し、53年度の退職者数、再就職あっせんの考え方、再就職の状況、企業及び団体からあっせん依頼の有無、幹部職員の再就職先の給与について

質疑、意見及び要望があり、議事進行の都合により、午後4時49分休憩、午後4時51分再開し、答弁調整のため直ちに散会。

- 10月25日（木） 午前10時27分、第1委員会室において開議、午前11時21分閉会
第1分科委員長
和田 勝之（自民）

- ① 総務部所管に対する質疑の続行、
総務部長から、昨日の山家勇委員（社会）の質疑に対する答弁の後、
山家勇委員（社会）から、職員の再就職先の団体等への道工事の発注状況、統一地方選挙における幹部職員の言動について
本間 喜代人委員（共産）から、
(1) 北海道副知事定数条例に対する見解

(2) 旭川の学校法人桜岡学園問題に関し、道の調査指導状況と対策、学園の監査体制、理事会の開催状況、補助事業の不適正執行と補助金返還、道の指導体制の強化等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

- ② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。
③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

第2分科会

- 10月18日（木） 午後零時40分、第2委員会室において開議、午後零時53分散会
第2分科委員長
岡本 栄太郎（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に岡本 栄太郎委員（社会）、分科副委員長に佐藤静雄委員（自民）をそれぞれ選出。
② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議、決定した。
③ 本分科会の運営についてはかり、自民、社会、道政各1名計3名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、高橋康之委員（自民）、保格博夫委員（社会）、中川隆之委員（道政）をそれぞれ選出。
④ 分科委員外委員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

- 10月19日（金） 午前10時9分、第2委員会室において開議、午後5時6分散会
第2分科委員長
岡本 栄太郎（社会）

- ① 労働部所管に対する質疑に入り、

藤井 虎雄委員（社会）から、

中高年齢者及び身体障害者の雇用促進に関し、高年齢者及び身体障害者の雇用状況と援護措置、雇用率及び達成率の低い業種の事情、雇入れ計画提出状況と企業名公表の考え、地方公共団体における身障者の雇用状況、今後の雇用促進対策、労働組合に対する働きかけ等について

質疑及び意見があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前11時休憩、午前11時3分再開。ついで、

② **林務部所管に対する質疑**に入り、

米村 邦敏委員（社会）から、

(1) 森林組合対策に関し、喜茂別町森林組合の現状と今後の見通し、道の指導体制の強化、再建対策、道退職者の再就職の状況、森林組合に対する考え方、山林不在地主対策、森林組合の経営不振の原因とその分析、森林組合指導促進事業の効果測定、林業技師養成事業への取り組み

(2) 森林組合の新生発展特別対策事業に関し、事業の内容、長期的展望と計画期間、本事業対象組合数と道発展計画の目標数値との関連、本事業予算の十分性について

中川 隆之委員（道政）から、

コパノヤマハンノキの性質、用途、伐期に達したコパノヤマハンノキの利用、販売体制の指導、鉛筆材としての利用と指導方について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後1時48分休憩、午後1時52分再開。ついで、

③ **農地開発部所管に対する質疑**に入り、

吉田 英治委員（社会）から、

工事の発注に関し、本年度の農業基盤整備事業の重点施策、水田転作にかかわる事業の具体的内容、排水対策特別事業の計画内容と事業費総額及び事業完了予定、地元中小建設業者育成対策、分離発注あるいは共同企業体など具体的な育成方法実施の考え、道外業者指名の理由、農業開発公社への発注理由と随意契約による契約の妥当性及び下請届の励行方、受益者負担の軽減、期成会のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後2時48分休憩、午後2時55分再開。ついで、

④ **水産部所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、川崎守第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び水産部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。ついで、

吉野 之雄委員（社会）から、

原子力発電所が設置された場合の海産生物に与える影響に関し、共和・泊原発建設にかかわる漁業影響に関する調査の中で温排水に含まれる放射性物質の問題を除外した理由、安全性の確保についての基本的な考え方、海産生物に対する放射能の影響などについての国の説明の有無、地元漁業団体の原発に対する意向、泊漁協の態度決定の経過、取・排水による漁業の影響、立地点変更と取・排水位置との関連、スケトウダラの成魚に至るまでの減耗率等について

（関連して、**藤井虎雄委員（社会）**から、北電から環境影響調査書提出の有無と北電に対する指導、道における放射能調査実施の有無について）

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

⑤ 分科委員長から、萩上元春委員（社会）の質疑通告の取り下げの申し出があった旨を報告。

○ 10月20日（土） 午前10時40分、第2委員会室において開議、午後3時19分散会

第2分科委員長

岡本 栄太郎（社会）

① **水産部所管に対する質疑**の続行、

分科委員長から、吉田英治委員（社会）の質疑通告の取り下げの申し出があった旨を報告の後、水産部長から、昨日の藤井虎雄委員（社会）の質疑に対する答弁。ついで、

川崎 守委員（共産）から、

函館地区のサケ定置免許に関し、サケ定置漁業者の漁業権行使規則違反の有無、サケ定

置漁業者が9月以降チカ・タナゴ小定置網を設置したことに対する考え、海区漁業調整委員会が法令違反問題を調査したことの有無と調査内容、免許に当たっての優先順位と漁業法第13条の規定との関係、湯浜地区振興会の不当集中条項該当の有無、サケ定置免許までの経過、経営参加についての毎年の見直しの考え、サケ定置に参加できなかったものの対策等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後2時11分休憩、午後2時13分再開。ついで、

② 土木部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、吉田英治委員（社会）の質疑通告の取り下げの申し出があった旨を報告の後、

山家 勇委員（社会）から、

土木行政に関し、道路、河川の管理状況、桧山管内における道路の整備状況、産炭地域における土木工事の施行業者のランク別の事業量の差についての見解、産炭法第6条及び第10条指定地域におけるランク別シエア、地元中小業者への具体的な対策、道央圏に近い産炭地域の道路事情と主な路線の整備状況、道路行政の一元化に対する考え等について質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

○ 10月22日（月） 午前10時23分、第2委員会室において開議、午後5時22分散会

第2分科委員長

岡本 栄太郎（社会）

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、工藤啓二第1分科委員（公明）の質疑通告の取り下げの申し出があった旨を報告、ついで、本間喜代人第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び住宅都市部所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

(1) 冬期間の季節労働者就労対策と官公需の事業発注との関連に関し、地元中小企業へ

の発注と季節労働者の雇用促進についての現場での具体的な取り組み、季節労働者の雇用の実態、官公需適格組合証明を受けた企業組合に対する考え

(2) 北広島団地開発事業と上水道計画に関し、団地開発の基本的な考え方、造成計画の達成度、入居のおくれの原因、人口の推移、入居のおくれが広島町水道計画及び水道会計に与える影響、道と広島町の協定改定の内容、計画未達成の場合の57年度以降の措置、水資源開発方式と団地開発に対する基本的な考え、入居おくれの解消策等について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁。

分科委員長から、中田繁夫委員（社会）の質疑通告の取り下げの申し出があった旨を報告の後、

本間 喜代人委員（共産）から、

(1) 苫小牧市の道営住宅の空き家問題に関し、住宅建設の経緯、苫小牧市の住宅5ヶ年計画の達成率、道営及び市営住宅の入居率と家賃差、家賃算定の特例措置、道と市の家賃算定方式の相違点、計画との差の原因、空き家解消促進と入居条件、収入基準改定時期と引上率、環境の整備、高層住宅を建設した考え方、HPR工法を採用した理由、特許工法と指名競争入札の経緯

(2) 道道臨港線に関し、工事を進めるに当たっての道の態度、小樽市の考え方が決定した後の道の手続、建設省の歴史的市街地保全整備計画推進のための調査実施について地区指定要請検討の考え等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午後4時7分休憩、午後4時11分再開。ついで、

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

造船不況に関し、函館ドックの再建状況、造船不況の状況認識、造船市場の現状認識について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。本会議開会のため、午後4時26分休憩、午後5時再開し、

輪島 幸雄委員（社会）から、新造強化対

策についての基本的な考え方、ソ連漁船の修理の確保について
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○10月23日（火） 午前10時16分、第2委員会室
において開議、午後6時25分
散会
第2分科委員長
岡本 栄太郎（社会）

① 商工観光部所管に対する質疑の続行、

藤井 虎雄委員（社会）から、

エネルギー問題に関し、道民向け省エネルギーのガイドスポット設定の考え、新エネルギー開発についての取り組み及び今後の検討課題、コロイダル燃料の促進計画、試験炭の選定及び今後の取り組み方、コールセンターについての把握状況と設置に対する基本的な考え方及び内陸部における石炭、石炭火発の位置付け、電力用内外炭の炭価比較の可否等について

星野 健三委員（社会）から、

(1) ガス事業に関し、プロパンガスの事故状況、外的要因によるガス爆発事故の補償の状況、液化石油ガスの保安総点検事業の実施状況と計画達成の見通し及び今後の取り組み方、都市ガス事業者の札幌市における都市ガス供給計画の概要と計画の進め方、都市ガス化に伴うLPガス業者と都市ガス業者間の競合問題に対する見解と指導についての考え方、プロパンガス価格の動向と地域格差の解消及び今後の対処方針等

(2) 電気料金に関し、電気料金の値上げについての北電からの説明状況、北電の固定資産、支払利息の推移と電気料金との関連及び今後の経営方針、電気料金値上げのあり方等について

吉野 之雄委員（社会）から、

(1) くず鉄の回収販売価格と製品価格の実態、鉄くず業界の経営安定についての製品メーカーへの指導方

(2) 原子力発電所の設置に関し、原発についての道の取り組み方、安全性についての認識と現地説明の内容及び道の態度、米国原子炉事故の受けとめ方、国内原子炉の安全

性、原子力安全委員会の所管と機能、石油採下エネルギーに対する原発のエネルギー効率、軽水炉を実証炉とする考え方、原子力災害補償法の目的と安全性との関連、原発から放出される放射性核種と測定能力及び放射線の生物濃縮についての認識、原子力発電所の従業員の被ばくに係わる人体への影響の認識及び原子力行政の道の進め方等について

高田 忠雄委員（道政）から、

(1) 地場産業の振興に関し、道内セメントの需給状況、本道の生コンクリート業界の実態、カイハツ産業㈱の概要と本道進出計画の内容及び道に対する事前説明の有無、道内民間企業に及ぼす影響と道の対処策、苫東石油備蓄基地建設構想についての認識と地場企業の受注分野、道産資材の活用についての見解及び受注活動の状況と今後の対応

(2) 北海道工鉱業開発促進条例に関し、知事の指定団地等の道内への企業の立地動向と条例適用期間内の立地見通し、指定業種拡大に対する見解、特定不況地域の指定団地追加の考え等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁が
あって、商工観光部所管に対する質疑を終結。理事者
交代のため午後5時6分休憩、午後5時8分再開。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員（社会）から、

(1) 稲作問題に関し、転作割当の傾斜配分に対する道の対応状況と国の反応及び今後の具体的な対応策、減反返上についての所見、水田の汎用化についての考え方、稲作の将来展望と飼料用稲の取り組みの必要性、良食味の品種育成に対する取り組み状況と食味の検定状況及び今後の見通し

(2) バレイショのシスト線虫対策に関し、国の農薬購入費の補助率引き下げについての考え方と道の対応姿勢、補助及び防除対策の基本的な考え方、抵抗性品種の開発状況等

(3) 台風20号による果樹被害対策について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○ 10月24日（水） 午前10時47分、第2委員会室
において開議、午後6時4分
散会

第2分科委員長

岡本 栄太郎（社会）

① 農務部所管に対する質疑の続行、

保格 博夫委員（社会）から、

FRPサイロの事故に関し、応急措置と今後の対策、メーカーと販売会社の実態、他府県の状況、建築基準法に基づく確認との関係、事故発生原因に対するメーカーの見解、関係機関等における試験の実施状況、原因究明に対する考え方、応急措置の安全性の確保、今後の補助事業対象予定サイロに対する取扱い、飼料の確保、補償問題に係る行政指導等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時23分休憩、午後5時10分再開。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、柳谷正一第1分科委員（公明）及び川崎守第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び教育委員会所管に対する発言の申し出について、通告の分科委員の質疑終了後にこれを許可することをはかり、異議なく決定の後、

星野 健三委員（社会）から、

(1) 児童生徒の健康状態調査に関し、悉皆調査の結果に対する見解、視力低下対策、運動能力実態調査の状況、悉皆調査継続の考え方、私学関係調査の考え

(2) 高校野球問題に関し、高校野球部出場辞退の経緯、学生野球憲章と高等学校野球連盟寄附行為についての見解及び民法第71条違反の有無等について

質疑及び意見があり、議事進行の都合により午後6時1分休憩、午後6時3分再開し、直ちに散会。

○ 10月25日（木） 午前11時7分、第2委員会室
において開議、午後10時41分
散会

第2分科委員長

岡本 栄太郎（社会）

○ 教育委員会所管に対する質疑の続行、

教育長から、昨日の星野健三委員（社会）

の質疑に対する答弁の後、

星野 健三委員（社会）から、

高校野球問題に関し、日本学生野球協会の寄附行為第4条並びに野球憲章第20条の規定と加盟団体の解釈、野球憲章に対する高校長協会会報の論評の受けとめ方、連座的処分の解釈見直しの考えと文部省への働きかけ方、出場停止処分に対する法的対抗手段の指導の考え、進行中の試合からの出場辞退をしないよう指導配慮方、本道からの高野連理事、評議員に対する適切な要請方等について

山家 勇委員（社会）から、

(1) 高等学校の施設整備に関し、校舎、グラウンド、防火施設等の整備状況と今後の具体的な取り組み方及び年次計画の立案目途、条件整備の促進方

(2) 高等学校の適正配置計画に関し、昭和55年度計画の考え方、学級減の対象計画数と定時制課程についての見解、学級減の基本的な考え方、長期的展望に立った配慮方について

渋谷 澄夫委員（社会）から、

(1) 教員の研修問題に関し、教員の研修についての基本的見解、研修機会及び自主研修に対する考え方、一般公務員と教育公務員の研修の同一性、自己研修の制約及び年休の取り扱いに対する考え方等

(2) 教育課程に関し、教育課程領域の変せんに対する考え方、道徳特設の背景及び文部省の特設の留意点についての見解、道徳特設以後の評価、教育課程編成の室蘭市教委、胆振教育局への届け出の相違及び学校要覧との関連、胆振教育局の指導訪問計画、市教委の学校に対する道徳教育の照会内容と報告状況及び教育委員会の権限との関連、教育課程編成の改善要求の拒否に対する措置、室蘭市の道徳教育についての現状認識、特設実施における監視の考え、校長会の性格と声明内容についての見解及び学校長の姿勢、父母と先生の会の声明に対する見解、道徳教育の危険性と教育行政のあり方等について

小野 秀夫委員（道政）から、

道徳教育に関し、教育課程の2領域編成の

違法性、室蘭市教委と北教組室蘭支部間の確認書破棄及び市教委、校長会の対応についての事実経過、確認書についての道教委の責務、破棄予告に対する胆振教育局の対応状況、市教委の確認書破棄措置の評価、道教委の確認書についての対処方針と今後の見通し、2領域編成に対する基本的な対処方針等について（関連して、保格博夫委員（社会）から、教育課程の編成と確認書についての基本的な考え方及び解釈のしかた、確認書に伴う労使間取り決めについての考え方、教育行政のあり方等について）

質疑、意見及び要望があり、教育長及び教育庁小中学校課長から答弁。議事進行の都合により、午後6時43分休憩、午後8時56分再開し、引き続き、

伊藤 豪委員（道政）から、

教育課程編成問題に関し、胆振教育局並びに室蘭市教委と当該北教組支部間の確認文書の文言の用い方、他の教育局における教育課程編成の確認状況、確認書内容の表現解釈のしかた、胆振教育局の確認調印が市教委に与えた影響及び過去における北教組の要求書との関連、本年度の要求書に対する回答内容と室蘭市教委の道教委との見解差に対する対応、教育課程に関する職員団体等の関与についての見解と胆振教育局の確認調印との関連、主任手当の支給に係る北教組との確認事項の市町村教委、学校長に対する拘束性、道德教育についての実情把握状況と指導の実態、クラブ活動等の調査実態と今後の対応、小樽市における補助教材の使用実態と道教委の考え方並びに教育課程の編成、実施状況と道教委の取り組み方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び教育庁小中学校課長から答弁。

○ 10月26日（金） 午前10時38分、第2委員会室において開議、午後零時38分閉会

第2分科委員長

岡本 栄太郎（社会）

① 教育委員会所管に対する質疑の続行、

柳谷 正一委員（公明）から、

(1) 特殊学校教育に関し、肢体不自由児に対

象とした養護学校の設置についての基本的な考え方、函館青柳養護学校設置計画の概要と通学、全寮制の区分及び建設用地の選定取得状況と見通し、新設校への移転に伴う通学方法と介護人、養護・訓練担当教諭の配置計画数及び訓練授業の方法、母子訓練の必要性

(2) 高校教育に関し、教育長計の後期における函館地区の高校新設計画及び後期計画についてのスケジュール等について

川崎 守委員（共産）から、

(1) 高等教育、高校建設に関し、函館市の高校進学率、間口等に対する考え方と私学の実態及び目標進学率との関連、郡部の函館志向の実態と進学率向上に対する間口拡大の必要性、前期計画の最終年度における目標進学率及び道教委の進学率向上に対する姿勢等

(2) 障害児教育に関し、精神薄弱児を対象とする後期中等教育計画の高等部計画の進捗状況と設置計画数の十分性、一般高校における特殊学級設置の考え、高等部の開校目途と今後の取り組みスケジュール、市町村における特殊学級介護員の身分と道の助成措置の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

○ 10月26日（金） 午後1時48分、第1委員会室において開議、午後7時5分閉会

委員長 大平 秀雄（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

福祉灯油に関し、灯油事情に係る福祉灯油

についての基本的見解、49年度の実施根拠、社会的弱者等の生活実態の現状認識、49年と現在との経済的影響の相違、実施の条件と見通し、生活実態の調査及び福祉灯油の実施の検討方等について

吉野 之雄委員（社会）から、

原子力行政に関し、原子力発電所施設についての基本的な考え方、原発計画のこう着原因、岩内漁協の反対理由、原発の安全性確保及び立地場所の考え方、原子力災害基本法における災害補償の規定根拠、安全性に対する道の基本姿勢と国への要請状況、軽水炉を実証炉とする考え方、原子力行政の進め方及び関係部における具体的検討の考え等について質疑、意見及び要望があり、知事及び商工観光部長から答弁の後、

（関連して、**藤井虎雄委員（社会）**から、放射線問題に関し、道の原発関係パンフレットにおける放射線量の用語の使い方と適否、放射線量の人体等への限度基準、原子力行政の基本原則の遵守、原発の環境影響調査書の提出見通しと放射線の調査の有無、環境影響調査と地元説明の実施機関及び放射能の影響調査の考え等について）

質疑があり、中川隆之委員（道政）及び保格博夫委員（社会）から、知事総括において部長が答弁することの妥当性について発言があり、委員長から応答の後、知事及び商工観光部長から**藤井虎雄委員（社会）**の質疑に対し答弁、引き続き、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

- (1) 季節労働者の雇用に関し、季節労働者対策の積極的推進、就労対策事業に対する特別交付税の実績と今後の冬期雇用確保の方策、官公需適格組合としての有資格企業組合に対する対処策、未資格組合に対する就労確保対策、企業組合への道の工事等発注の考えと経営強化の具体的考え方
- (2) 道営北広島団地開発及び水道計画に関し、団地入居の遅滞についての知事責任、広島町の水道料金の改定原因と石狩東部広域水道事業への投資との関連、漁川ダム計画規模の適否と水道料金に対する影響、広島町への援助強化方等について

保格 博夫委員（社会）から、

FRPサイロ対策に関し、倒壊事故原因の究明についての取り組み状況と材料試験結果の判明時期、ワイヤーロープによる補強措置の妥当性、日本建築センターの性能評定のあり方と今後の取り組み方、補助事業等によるFRPサイロの55年度導入計画数と導入留保の考え及び補助事業外のFRPサイロ建築に対する指導方針、総点検の目途と安全対策、農用施設等に対する試験研究体制の拡充についての取り組み方等について

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 北海道副知事の定数に関し、現行2人体制の合法性、条例定数に基づき補充選任する考え、議会に対する対応姿勢、現行体制の今後の見通しと条例との関連、選任又は条例改正の早期決定と適正な措置方
- (2) 小樽運河と石造倉庫群の保存に関し、建設省の歴史的市街地保全整備計画に小樽市を申し入れる考え等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後5時45分休憩、午後6時58分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号について意見の一致をみるに至らなかった旨及び議案第1号について神本三也委員（社会）ほか10人から修正動議が提出されている旨を報告の後、議案第1号を議題とし、神本三也委員（社会）から、社会、公明及び共産3党共同提出に係る修正案について趣旨説明があって、質疑並びに討論なしと認め、直ちに採決に入り、まず、修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決と決定。次に、修正案にかかわる原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決すること決定。次に、修正案にかかわる部分を除く原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。次に、神本三也委員（社会）から、議案第1号に関し、修正案を少数意見として留保する旨を発言。

次に、議案第2号、第3号及び報告第1号

を議題とし、異議なくいずれも原案のとおり可決又は承認議決することに決定。

- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

企業会計決算特別委員会

○7月14日(土) 午後1時9分、第1委員会室
において開議、午後1時21分
散会

委員長 田荊子政太郎(自民)

正副委員長の互選

- ① 田荊子政太郎臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、渋谷澄夫委員(社会)の動議により、指名推選の方法をもって、田荊子政太郎委員(自民)を委員長に選出。

- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、宇川源吉委員(自民)の動議により、指名推選の方法をもって、青木延男委員(社会)を副委員長に選出。

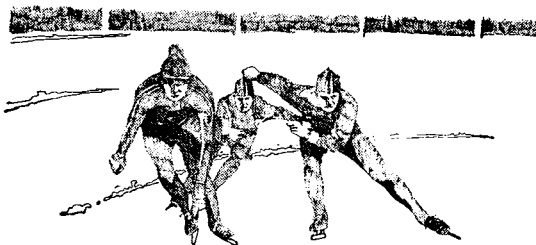
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、宇川源吉委員(自民)、水岡薫委員(自民)、渋谷澄夫委員(社会)、長岡寅雄委員(社会)、木下一見委員(道政)、伊藤武一委員(公明)をそれぞれ選出。

- ④ 本委員会の申し合わせ事項「(1) 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。(2) 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。(3) 委員の交代は、原則として認めないこと。(4) 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。」についてはかり、異議なく決定。

- ⑤ 委員外議員の発言等の取り扱いについて、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に許可すること、書面審査及び資料要求は認めないことに決定。

○7月24日(火) 午後7時18分、第2委員会室
において開議、午後7時21分
散会

委員長 田荊子政太郎(自民)



① 委員長から、水岡薫委員（自民）の辞任に伴い、伊藤弘委員（自民）が補欠選任された旨を報告。

② 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

③ 審査日程について、配付の日程のとおりとすることに決定。

④ 報告第20号ないし第26号を議題とし、衛生部長、林務部長、住宅都市部長及び公営企業管理者から各会計決算の概要並びに代表監査委員から各会計決算に対する審査意見について説明を聴取。

⑤ 決算審査のため必要な資料についてはかり、異議なく配付の項目により要求することに決定。

⑥ 付託の報告第20号ないし第26号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

⑦ 委員長から、企業会計決算にかかわる現地調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

⑧ 7月30日から7月31日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

⑨ 書面審査室を第2委員会室に設置することを了承。

○8月1日（水） 午後1時37分、第2委員会室において開議、午後1時40分散会

委員長 田荊子政太郎（自民）

① 委員長から、水岡薫委員（自民）の委員辞任、伊藤弘委員（自民）の補欠選任に伴う理事の変更についてはかり、久田保委員（自民）に変更することを異議なく決定。

② 委員長から、7月24日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。

③ 決算審査のため必要な資料の追加についてはかり、異議なく配付の項目により要求することに決定。

④ 書面審査室を第2委員会室から第11委員会室に変更することを了承。

○8月6日（月） 午後3時21分、第2委員会室

において開議、午後3時25分散会

委員長 田荊子政太郎（自民）

① 委員長から、さきに実施した企業会計決算にかかわる現地調査の概要について報告書が提出されている旨を報告、異議なく報告書のとおり了承。

② 委員長から、8月1日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。

③ 委員長から、各部所管にかかわる審査日程についてはかり、配付の日程表のとおりとすることに決定。

④ 8月7日から8月11日及び8月17日から8月20日まで委員会を開かず、書面審査を行うことに決定。

○8月21日（火） 午前11時12分、第2委員会室において開議、午後4時2分散会

委員長 田荊子政太郎（自民）

① 8月22日以降の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおり変更することに決定。

② 報告第20号（昭和53年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

長岡 寅雄委員（社会）から、

(1) 道立病院の経営に関し、毎年度発生する赤字の原因、議会の付帯意見及び監査委員の審査意見等に対する具体的措置、固定医師及び医療技術者の確保対策、累積赤字の解消策と一般会計からの繰り入れに対する考え方

(2) 医師等の定数問題に関し、医療法に基づく医師の定数配置のあり方と必要定数の確保、医師の処遇改善及び確保等についての推進方策、看護婦の定数及び看護体制のあり方、非常勤・臨時職員の業務資格、勤務内容及び定数化の考え等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、議事進行の都合により、午後1時18分休憩、午後2時26分再開。引き続き、

萩上 元春委員（社会）から、

(1) 医師等の定数に関し、医師の定数と道立

病院における配置数及び現員数との関連、
医師の適正配置、向陽ヶ丘病院の看護婦配
置数

- (2) 道立病院の病床利用に関し、結核病床の
転床に対する考え方、羽幌病院の結核病床
の利用状況と未使用病床の転用方策、札幌
北野病院の病床利用率が低い理由及び今後
の対処策

- (3) 医薬品の一括購入の拡大方について

(関連して、渋谷澄夫委員(社会)から、北
野病院に係る医師派遣のあり方、道立病院の
医師の給与に対する基本的な考え方等につい
て)

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があっ
て、衛生部所管に対する質疑を終結。

- ③ 8月22日から8月23日まで委員会を開か
ず、書面審査を行うことに決定。

○8月24日(金) 午前10時21分、第2委員会室
において開議、午後零時15分
散会

委員長 田莉子政太郎(自民)

- ① 報告第21号(昭和53年度北海道有林野事業
会計決算に関する件)を議題とし、林務部所
管に対する質疑に入り、

榎林 巖委員(社会)から、

- (1) 道有林野事業の経営に関し、議会の付帯
意見に係わる収支改善の措置状況、安定経
営のための対応策、一般会計への繰出金の
考え方、緑化樹生産事業の収支状況と将来
展望
- (2) 林業労働安全対策に関し、労働災害の発
生状況と防止対策、有害生物による事故防
止対策、振動病の発生状況と防止対策等につ
いて

渋谷 澄夫委員(社会)から

- (1) 道有林経営に関し、道有林野事業の役割
と将来展望、道産杉の道内需要拡大対策、
カラマツ間伐事業に対する補助制度の拡充
とカラマツ材の消費拡大対策
- (2) 林業労働力の安定確保対策に関し、作業
員の雇用の減少理由及び請負事業との関
連、賃金の実態と長期雇用の考え方
- (3) 道有林野基金に関し、文教施設事業に対

する貸付実績及び貸付条件改定の考え

- (4) 道有林野の農用地としての開放実態と活
用に対する基本的な考え方

- (5) 決算委員会の付帯意見に対する対応姿勢
について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があっ
て、林務部所管に対する質疑を終結。

- ② 8月25日から8月27日まで委員会を開か
ず、書面審査を行うことに決定。

○8月28日(火) 午前11時5分、第2委員会室
において開議、午後1時19分
散会

委員長 田莉子政太郎(自民)

- 報告第22号(昭和53年度北海道北広島団地
開発事業会計決算に関する件)を議題とし、
住宅都市部所管に対する質疑に入り、
青木 延男委員(社会)から、

- (1) 北広島団地開発事業に関し、宅地の処分
計画と実績、宅地処分の遅延原因、宅地分
譲の促進対策、宅地購入資金の貸付実績、
交通利便の改善に対する考え方、集合住宅
用地の分譲見通しと今後の分譲方針、団地
造成資金金利の分譲価格への影響と対応
策、宅地分譲の遅延が広島町財政に与える
影響及び道と町との協定内容、昭和54年度
以降の造成計画の内容、道営及び公団住宅
の空き家の現状と解消方
- (2) 地域暖房供給に関し、熱供給事業の現状
と供給促進、熱供給会社の決算状況と生産
原価に占める燃料費の割合、燃料用石油の
確保対策と見通し、熱料金の改定に対する
考え方
- (3) 住宅団地の開発に関し、新住宅用地開発
の考え、今後の宅地、住宅施策の進め方、
道内主要都市の宅地開発の現状と主要中核
都市における宅地開発の考え、住宅施策の
基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があっ
て、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○8月29日(水) 午前10時44分、第2委員会室
において開議、午後2時45分
散会

委員長 田 莉子政太郎(自民)

- ① 報告第23号(昭和53年度北海道電気事業会計決算に関する件)、報告第24号(昭和53年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件)、報告第25号(昭和53年度北海道有料道路事業会計決算に関する件)、報告第26号(昭和53年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件)を一括議題とし、

委員長から、本間喜代人議員(共産)の本委員会への出席及び企業局所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、企業局所管に対する質疑に入り、

長岡 寅雄委員(社会)から、

- 道営電気事業に関し、道営電気事業の位置付けと福祉、経済的貢献度及び将来構想、電力開発に対する調査状況、ポンテシオ発電所計画の概要と運開目途及び売電価格の設定方法、水力発電所の採算性と多目的ダム建設の考え方、売電単価算定方式の検討方等について

渋谷 澄夫委員(社会)から、

- (1) 道営電気事業に関し、ポンテシオ発電所の発電量と電力料金についての北電への打診、地熱発電の検討状況、水力発電に対する道と北電の取り組み姿勢、前年度電力量が標準以下となった理由及び収入への影響
(2) 工業用水道事業に関し、53年度の決算状況、料金値上げの有無、特定供給の内容
(3) 工業団地開発事業に関し、苫東住宅団地の用地未売却の理由と今後の取り組み、53年度決算の一時借入金による措置の理由、用地売却に対する基本的な考え方、札幌通産局長発言の受けとめ方と用地売却への影響等について

質疑、意見及び要望があり、公営企業管理者及び企業局長から答弁があって、議事進行の都合により午後零時42分休憩、午後1時45分再開。引き続き、

本間 喜代人議員(共産)から、

- 苫東工業用水道事業に関し、苫東第一工水の給水能力の試算根拠、ダム、専用施設の着工見通し、工水計画の基本的な考え方、苫小牧第二工水の水量が余った理由、建設費について金融機関に縁故債を引き受けさせた理

由、北電等に縁故債を引き受けさせる考え方、出資金に対する納付金の勘案、検討状況及び他県の実態把握方等について

質疑、意見及び要望があり、企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

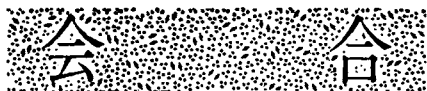
- ② 委員長から、報告第20号ないし第26号に対する意見調整を各派代表者会議において行うことをはかり、異議なく決定。

○ 8月31日(金) 午前10時46分、第2委員会室において開議、午前10時49分閉会

委員長 田 莉子政太郎(自民)

- ① 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、報告第20号ないし第26号を一括議題とし、報告第24号及び第25号は認定議決、報告第20号ないし第23号及び第26号は意見を付し認定議決することについてをはかり異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。



全国都道府県議会議長会

- 10月25日(木) 都道府県会館において役員会を開催。会長代理(兵庫県議長)及び第74回定例総会開催地(徳島県)議長のあいさつに引き続き、協議に入り、まず、臨時総会の日程について、会長代理から会長の補欠選任を行う予定の旨を述べ、全議事務局長から日程を説明の後、了承した。次に、第74回定例総会の提出議案について、各委員長報告のとおり決定し、地方行財政の確立に関する決議案ほか1件を役員会提出議案として決定。次に第74回定例総会の日程及び議事運営等について、決定又は了承の後、定例総会議決事項の要望運動方法を決定し、第76回定例総会の開催地については、東北ブロックで開催することとした。次に、本会会則等の一部改正(東北ブロックの名称を北海道東北ブロックに改めることなど)について、協議決定した。

次に、昭和55年度本会予算の大綱案及び明年度海外視察について、原案のとおり決定の後、地方自治確立対策協議会における本会委員に関東ブロック選出の副会長を加え、3人とすることを了承。次に、広島県議長から、西地区から選出と決定されている後任会長候補者の協議状況などについて発言があり、意見交換の後、緊急役員会の決定を再確認して、閉会した。

- 11月7日(水) 徳島県徳島市において役員会を開催。会長代理(兵庫県議長)及び地元議長のあいさつの後、協議に入り、臨時総会の日程、及び本会会則の一部改正、定例総会の議事順序日程、議決事項の処理等について、それぞれ了承して、閉会した。
- 11月7日(水) 徳島県徳島市において臨時総会を開催。会長代理(兵庫県議長)のあいさつの後、協議に入り、欠員中の会長に香川県議長、四国ブロックの理事に愛媛県議長、農林水産委員会副委員長に沖縄県議長をそれぞれ選任し

て、閉会した。

- 11月7日(水) 徳島県徳島市において第74回定例総会を開催。地元徳島県議長、会長(香川県議長)、徳島県知事及び徳島市長のあいさつに引き続き、内閣総理大臣のメッセージ、自治大臣の祝辞及び衆参両院議長の祝電披露の後、自治功労者の表彰を行い、次に、国民体育大会開催県議長からあいさつ、ついで、正副議長選挙の後、議事に入り、本会会則の一部改正(東北ブロックの名称を北海道東北ブロックに改めることなど)を決定。次に、昭和53年度会務及び会計報告、会計監査報告を承認し、ついで、役員会提出議案について原案のとおり決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも原案のとおり決定し、第76回定例総会開催地を東北ブロックに決定して、閉会した。

10都道府県議会議長会

- 11月20日(火) 名古屋市において開催。地元愛知県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、まず、東京都議長から、前回議決事項の処理報告の後、次の事項について協議決定した。ついで、全議事務局長から、来年度予算編成及び給与問題等について報告の後、次回開催地を京都府と決定して、閉会した。

- 1 石油類の安定供給の確保と価格の抑制について
- 2 震災対策に関する特別法の制定について
- 3 高等学校建設に対する国庫補助制度の存続期間延長について
- 4 高速道路トンネル内の追突炎上事故対策について
- 5 石油製品の供給の確保と価格の安定化について
- 6 母子保健法の改正について
- 7 用地補償に係る制度の改善について
- 8 国民健康保険事業運営の健全化について
- 9 唇裂・口蓋裂児の歯列矯正に対する健康保険の適用及び医療体制の確立について

資 料

第3回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計条例	10. 26	10. 30	北海道条例第26号
北海道立青少年の森条例	同	同	北海道条例第27号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第28号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第29号
北海道心身障害者扶養共済制度条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第30号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第31号

10 月 の メ モ

- 1日 ○文部省、高校の新学習指導要領を来年度から先取り実施する移行措置を告示。
- 2日 ○外務省、北方領土の軍事力増強でソ連に抗議。
- 3日 ○公正取引委員会、出版物の再販価格制度の運用について業界団体に対し改善通告。
- 4日 ○韓国国会、第1野党の金泳三新民党総裁を除名。警官隊を導入し強行可決。
- 5日 ○深川市音江町国見峠の国道12号線で、マイクروبスとダンプカーが正面衝突、7人が死亡、12人重傷。
- 6日 ○道、知事公印を盗用したニセ文書事件で懲戒処分を発表。処分内容は、懲戒免職1人、戒告3人、訓告など8人。
- 7日 ○第35回衆議院議員総選挙投票、新勢力分野決定。自民党248人、社会党107人、公明党57人、共産党39人、民社党35人、新自由クラブ4人、社民連2人、無所属19人
- 8日 ○シケの小樽市大浜の前浜で、同市のサケ定置網起こし船(2.5トン)が転覆、乗組員4人が行方不明。
- 11日 ○文部省、今春の高等教育機関への進学状況(学校基本調査)を発表。大学、短大への進学率は37.4%で前年より1%ダウン。本道の進学率は29.6%で1.1%低下し、全国平均を大きく下回った。
- 14日 ○東京税関、国際電信電話株式会社(略称KDD)の社長秘書ら2人の密輸事件でKDD本社、社長宅など数か所を関税法違反容疑で家宅搜索。
- 16日 ○滋賀県議会、リンを含む家庭用合成洗剤の販売・使用・贈答禁止などを内容とする「琵琶湖富栄養化防止条例」案を全員一致で可決。
- 18日 ○社会保障制度審議会(首相の諮問機関)、「高齢者の就業と社会保険年金」と題する年金改革案をまとめ首相に建議。
- 19日 ○台風20号、本土を縦断し43都道府県で被害続出。死者25人、行方不明13人。本道でもガケ崩れなどによる死者4人の外、日韓漁船などが遭難、死者5人、行方不明62人。(21日現在)
- 23日 ○閣議、元号法に基づく元号の選定手続きを決定。内容は有識者による候補名の考案委嘱など。
- 26日 ○第3回定例道議会閉会。
○国連世界保健機構(WHO)、天然痘の根絶宣言。
○千葉県議会「危険動物の飼養及び管理に関する条例」案を可決。
○韓国朴大統領、側近の金中央情報部長に射殺される。韓国全土に非常戒厳令。
- 28日 木曾御岳山(3,063m)、有史以来初の噴火。
- 30日 ○第89特別国会召集。
○最高裁、職場のロッカーにビラをはって戒告処分された組合員が処分の取消しを求めている上告審で、「無許可で施設を利用することは、使用者の権限を侵し、秩序を乱すので正当な組合活動として許されず、懲戒処分は有効」との判断。
○衆議院、議長に灘尾弘吉氏(自民)、副議長に岡田春夫氏(社会)を選出。
○道南地熱エネルギー会社(本社・東京)と北電の両社、森町濁川に地熱発電所を建設する旨森町長に申入れ。内容は5万KW、着工は55年夏、発電開始予定56年11月、建設費約100億円など。
- 31日 ○道人事委員会、道職員の給与改定を勧告、過去最低の3.59%。

11 月 の メ モ

- 1日 ○日銀、公定歩合を1%引上げ、年6.25%とし、2日から実施を決定。
- 新潟地検、大光相互銀行の乱脈融資事件で、元社長ら3人を特別背任罪で起訴。
- 2日 ○閣議、「生活基盤の充実と機会の拡大」と題する54年度国民生活白書を了承。
- 4日 ○イランの右派学生、イラン米大使館を占拠、館員らを入質。パーレビ元国王の送還を要求。
- 6日 ○衆・参両院、決選投票で第69代首相に大平正芳氏を指名。自民党から異例の2人の首相候補。
- イランのバザルガン内閣総辞職。革命評議会が政権を担当。
- 8日 ○第2次大平内閣発足、運輸大臣・地崎宇三郎氏、大蔵大臣・竹下登氏、道開発庁長官・後藤田正晴氏など。
- 12日 ○東京地裁、三菱重工ビル爆破など連続企業爆破事件の「東アジア反日武装戦線」の4被告人に対し2人に死刑、1人を無期懲役、1人を懲役8年の判決。
- カーター米大統領、イランの米大使館占拠事件でイラン石油の全面輸入停止を決定、イラン政府も米国向け石油輸出を全面停止。
- 13日 ○最高裁、「長崎・未熟児網膜症訴訟」の上告審で、42年当時、未熟児の眼科的管理は普及しておらず、過失は問えないとして原告の上告を棄却。
- 北大理学部地質学鉱物学研究室の研究班、苫小牧周辺で活断層を確認。
- 14日 ○イラン政府、在米預金の引きあげと在イラン米国投資の国有化を決定、カーター米大統領も米銀行預託のイラン資産の移動禁止措置。
- 小樽市議会総務、建設両委員会、「道道小樽臨港線改良工事の早期完成について」など道路建設促進の陳情を採択、運河保存関係の陳情を不採択と決定。
- 16日 ○第89特別国会閉会
- 北海道電力、電気料金の値上げを通産相に申請。電灯電力平均で38.83%の大幅な値上げ申請。
- 自民党3役決定。幹事長・桜内義雄氏、総務会長・鈴木善幸氏、政調会長・安倍晋太郎氏。
- 17日 ○イランの最高指導者ホメイニ師、米大使館占拠事件の入質のうち、女性と黒人の解放を命令。
- 19日 ○後志管内寿都町の小学生56人、インフルエンザの予防接種で副作用。
- 21日 ○農林水産省、55年度の米の減反目標を53万5千haに強化、予約限度数量を785万トンに減少する水田利用再編対策強化を正式決定。
- 23日 ○日本航空の大阪発羽田行DC10機、ハイジャックされたが成田空港で給油作業中、機長らが犯人を取り押え、乗客は無事。
- 26日 ○第90臨時国会召集。
- 新自由クラブ河野洋平代表辞任、代表代行に田川誠一氏。
- 国際オリンピック委員会、中国の五輪復帰を正式承認。
- 28日 ○ニュージーランド航空の南極ツアー機、南極の活火山中腹に墜落、日本人乗客24人を含む乗客、乗員257人全員絶望。
- 29日 ○札幌地裁、室蘭市長選挙に立候補し当選した前道部長の退職金をめぐり、「勧奨適用による増額分の返還を求めた訴訟」で原告の主張を認め、増額分747万円の返還を命ずる判決。
- 道教委、55年の公立高校配置計画を発表。札幌、釧路、帯広に4高校新設など。
- 30日 ○農林水産省、55年度の水田転作目標面積と事前売渡し申し込み限度数量の配分を決定し都道府県に通知。本道分の転作目標面積は109,980ha（対本年度実施面積比18.2%増）限度数量は65万7,700トン（現行より7万3,400トン減）。
- 道、出先機関の見直しを中心とした「行政改革実施大綱」を全道庁労組に提案。

